

# 滋賀県立大学工学部屋外廊下耐火被覆改修工事

図 面 リ ス ト		
図面番号	図面名称	縮尺(A1版)
A-00	表紙、図面リスト	
A-01	建築改修工事特記仕様書(1)	——
A-02	建築改修工事特記仕様書(2)	——
A-03	附近見取図、配置図、概要書	1/1400、1/2500
A-04	現状1階平面図	1/300
A-05	現状2階平面図	1/300
A-06	現状3階平面図	1/300
A-07	現状立面図1	1/300
A-08	現状立面図2	1/300
A-09	現状断面図	1/300
A-10	現状7'リッジB平面図、天井伏図、断面詳細図、参考棚足場組	1/30、1/100
A-11	改修7'リッジB平面図、天井伏図、断面詳細図	1/30、1/100
A-12	現状7'リッジB展開図、改修7'リッジB展開図	1/100
A-13	現状7'リッジC平面図、天井伏図、断面詳細図、参考棚足場組	1/30、1/100
A-14	改修7'リッジC平面図、天井伏図、断面詳細図	1/30、1/100
A-15	現状7'リッジC展開図、改修7'リッジC展開図	1/100

滋 賀 県 立 大 学  
株式会社 水原建築設計事務所



③ 金 属 工 事	1 ステンレスの種類	種 類 ※ SUS 304 表面仕上げ ※ H 仕上げ ・ No. 2 B ・ 鏡面仕上げ (14.2.1)				
	2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	種 別 表面処理 施工箇所 ※ B B-1種 無着色 ・ B B-2種 電解着色(色) 外部建具 ・ C 種				
	3 鉄鋼の亜鉛メッキ	(14.2.3) (表14.2.2)				
	④ 軽量鉄骨天井地下	野縁等の種類	屋内 ※ 19型 ・ 25型 屋外 ・ 19型 ※ 25型 (耐風仕様) (表14.4.1)			
		外部野縁受、吊りボルト、インサートの、端部からの設置位置	※ 150以内 (14.4.3)			
		外部野縁の間隔	※ 仕様表14.4.2による。			
		※ 天井/サリ引試験	(表14.4.4)			
	5 軽量鉄骨壁地下	天井のふところ高が3mを超える場合の補強： スタッド、ランナーの種類 ・ 50型 ・ 65型 ・ 90型 ・ 100型 (表14.5.1)				
	6 金属成型板張り	(14.6.2)				
	7 アルミニウム製笠木	形 状	材 種	寸法 (mm)	厚さ (mm)	表 面 処 理
		・ スパンドレル形	・ アルミニウム			※ B-1種 ・ B-2種(色)
	8 エキスパンションジョイント	笠木本体	・ 250型 ・ 300型 ・ 350型	・ 図示による	(14.7.2)	
	9 天井廻縁	表面処理	※ A-1種または B-1種 ・ B-2種	・ 外壁色合わせアクリル樹脂塗装		
		材 質	※ ステンレス製既製品 ・ アルミ製既製品			
	10 天井見切り縁	性 能	・ 耐火仕様	・ 一般仕様		
11 点検口	材 質	・ アルミニウム製 ※ 塩化ビニル製				
12 床排水ピット	材 質	・ アルミニウム製 ※ 塩化ビニル製				
⑮ パンチングメタル	材 質	・ アルミニウム製 ※ 塩化ビニル製				
	材 質	・ アルミニウム製 ※ 塩化ビニル製				
	材 質	・ アルミニウム製 ※ 塩化ビニル製				
	材 質	・ アルミニウム製 ※ 塩化ビニル製				
	材 質	・ アルミニウム製 ※ 塩化ビニル製				
	材 質	・ アルミニウム製 ※ 塩化ビニル製				

④ 左 官 工 事	1 モルタル塗り床	※ 仕様による (15.2.5)				
	2 セルフレベリング材塗り	種 類 ・ せっこう系 ・ セメント系 (表15.4.1)				
	3 仕上塗材仕上げ	施 工 箇 所 (表15.5.1)				
	薄付け仕上塗材	種 類	呼 び 名	仕 上 げ の 形 状	施 工 箇 所 ・ 備 考	
		厚付け仕上塗材	種 類	呼び名	仕上りの形状	施工箇所・備考
				・ 外装薄塗材 S i	・ 砂壁状 ・ 砂ず肌状 ・ さざ波状	
				・ 可とう形外装薄塗材 S i	・ 砂壁状 ・ 砂ず肌状 ・ さざ波状	
				・ 外装薄塗材 E	・ 砂壁状	
				・ 可とう形外装薄塗材 E	・ 砂壁状	
				・ 防水形外装薄塗材 E	・ 砂ず肌状 ・ さざ波状 ・ 凹凸状	
				・ 外装薄塗材 S	・ 砂壁状	
				・ 内装薄塗材 C	・	
				・ 内装薄塗材 L	・	
				・ 内装薄塗材 S i	・	
				・ 内装薄塗材 E	・	
・ 内装薄塗材 W	・					
複層仕上塗材	種 類	呼び名	仕上りの形状	施工箇所・備考		
		・ 外装厚塗材 C	・			
		・ 外装厚塗材 S i	・			
		・ 外装厚塗材 E	・			
		・ 内装厚塗材 C	・			
		・ 内装厚塗材 L	・			
		・ 内装厚塗材 G	・			
		・ 内装厚塗材 S i	・			
		・ 内装厚塗材 E	・			
		・ 複層塗材 C E	・ 凸部処理 ・ 凹凸模様 ・ 砂ず肌状			
		・ 可とう形複層塗材 C E	・ 凸部処理 ・ 凹凸模様 ・ 砂ず肌状			
		・ 複層塗材 S i	・ 凸部処理 ・ 凹凸模様 ・ 砂ず肌状			
・ 複層塗材 E	・ 凸部処理 ・ 凹凸模様 ・ 砂ず肌状					
・ 複層塗材 R E	・ 凸部処理 ・ 凹凸模様 ・ 砂ず肌状					
・ 複層塗材 R S	・ 凸部処理 ・ 凹凸模様 ・ 砂ず肌状					
・ 防水形複層塗材 C E	・ 凸部処理 ・ 凹凸模様 ・ 砂ず肌状					
・ 防水形複層塗材 E	・ 凸部処理 ・ 凹凸模様 ・ 砂ず肌状					
・ 防水形複層塗材 R E	・ 凸部処理 ・ 凹凸模様 ・ 砂ず肌状					
・ 防水形複層塗材 R S	・ 凸部処理 ・ 凹凸模様 ・ 砂ず肌状					
軽量骨材仕上塗材	種 類	呼び名	仕上りの形状	施工箇所・備考		
		・ 吹付用軽量塗材	・ 砂壁状			
・ こて塗用軽量塗材	・ 平たん状					
④ ロックウール吹付	○ソケット打放し保護工法 ○ササ仕上 参考メーカー：エケー化研 住友化学工業					
	厚 さ(mm) ・ 10 ・ 15 ・ 20 ○25 (15.7.3)					

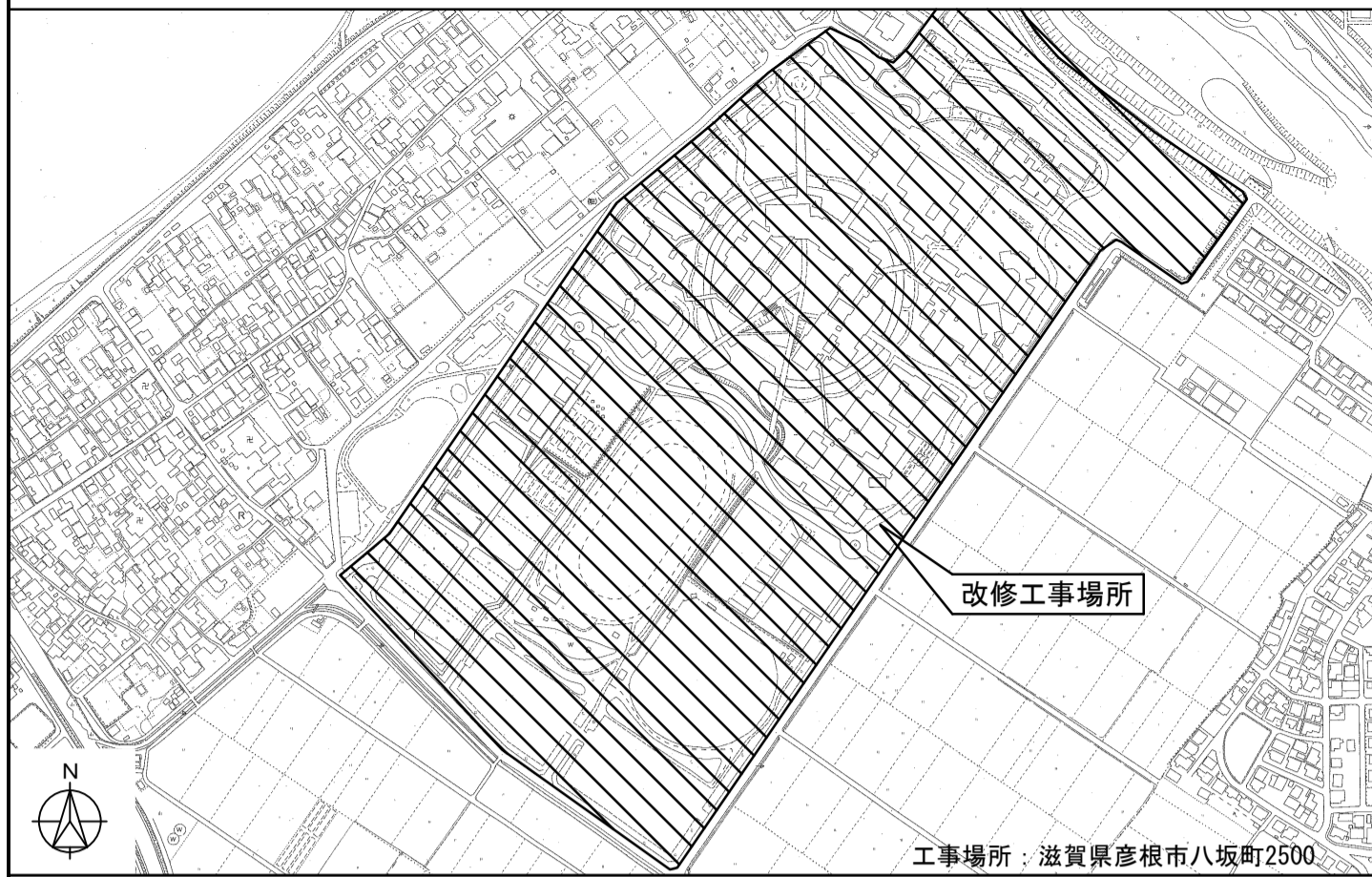
⑤ 塗 装 工 事	① 素地ごしらえ	木部 ※ A種 (透明塗料の場合はB種) ・ B種 (18.2.2) (表18.2.1)		
	② 下地調整	鉄面 (鉄骨工事は除く) ・ A種 ・ B種 ※ C種 (18.2.3) (表18.2.2)		
		亜鉛メッキ面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 (18.2.4) (表18.2.3)		
	③ 錆止め塗料塗り	モルタル・プラスター面 ・ A種 ※ B種 (18.2.5) (表18.2.4)		
		コンクリート・ALCパネル面 ・ A種 ※ B種 (18.2.6) (表18.2.5)		
	④ 一般塗料	コンクリート・押出成形セメント板面 ・ A種 ・ B種 (18.2.6) (表18.2.6)		
		せっこうボード面 ・ A種 ※ B種 (表18.2.7)		
	⑤ 特殊塗料	(継目処理工法の場合はA種)		
		[7.2.2~7] [表7.2.1~7]		
	⑥ 撤去工事	下地面の種類	下地調整の種類	備 考
		木部	・ R A種 ※ R B種	
	⑦ 石綿含有建材の事前調査	鉄面	・ R A種 ※ R B種	
		亜鉛めっき面	・ R A種 ※ R B種	
	⑧ 錆止め塗料塗り	亜鉛めっき面 (鋼製建具)	※ R B種 ・ R C種	
		モルタル、プラスター面	・ R A種 ※ R B種	
⑨ 一般塗料	コンクリート、ALCパネル面	・ R A種 ※ R B種		
	せっこうボード、その他ボード面	・ R A種 ※ R B種		
⑩ 特殊塗料	既存モルタル下地面等のひび割れ部の補修 ※行わない ・ 行う (補修範囲及び補修方法は図示)			
	塗料種別 亜鉛メッキ面 ※ A種 (EP-Gの場合はC種) ・ B種 (表18.3.2) グリーン購入法に基づく無鉛型錆止め塗装を採用しようとする場合は、事前に監督職員の承認を得ること。 錆止め塗料塗り 鉄 面 ※ 見掛けA種、見隠れB種 亜鉛メッキ面 ※ 鋼製建具A種、その他C種 C種に用いる錆止め塗料種別はB種とする。			
⑪ 撤去工事	合成樹脂調合ペイント (SOP) 仕様による (18.4.2~5)			
	クリヤラッカー塗 (CL) 仕様による (18.5.2)			
⑫ 特殊塗料	アクリル樹脂系非水分散形塗料 (NAD) 仕様による (18.6.2)			
	耐油性塗料塗り (DP) 1種 (18.7.2)			
⑬ 撤去工事	鉄面 上塗りの等級： 1種 (18.7.2)			
	亜鉛メッキ面 上塗りの等級： 1種 (18.7.3)			
⑭ 特殊塗料	コンクリート面、押出成形セメント板面 ・ A種 ・ B種 ・ C種 (18.7.4)			
	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り (EP-G) 仕様による (18.8.2~5)			
⑮ 撤去工事	合成樹脂エマルションペイント塗り (EP) 仕様による (18.9.2)			
	合成樹脂エマルション機軸塗料塗り (EP-T) 仕様による (18.10.2)			
⑯ 特殊塗料	ウレタン樹脂フニス塗り (UC) 仕様による (18.11.2)			
	オイルステイン塗り (OS) 仕様による (18.12.2)			
⑰ 撤去工事	木材保護塗料塗り (WP) 仕様による (18.13.2)			
	マステック塗料塗り ・ A種 ・ B種 (18.14.2)			
⑱ 特殊塗料	JIS規格品			
	セラミック系耐火被覆材 参考メーカー：エスケー化研 セラタिका2号 (屋外仕様) 又は同等品以上			

⑥ 撤 去 工 事	① 取り壊しの記録	○ 産業廃棄物及び産業廃棄物以外の廃棄物は、搬出簿を作成し、産業廃棄物管理票(特721)のA票、B票、D票、E票の写しを添えて工事関係車両の出入り通過については危険防止に努めると共に、出入口及び必要箇所には必ず安全監視員を配置すること。 ○ 産業廃棄物及び産業廃棄物以外の廃棄物は、搬出簿を作成し、産業廃棄物管理票(特721)のA票、B票、D票、E票の写しを添えて提出する。 ○ 工事写真等は取り壊し前、取り壊し中、取り壊し後を撮影する。
	② 関係法令の遵守	○ 受注者は、工事に伴う、道路占用許可、公害(騒音・粉塵)対策等に係る関係法令に照らし合わせ必要な手続きを行い、工事施工のこと。 ○ 工事着手に先立ち、建築基準法第15条第1項の規定による建築物除去届及び建築法(7)法の届け、及び工事に関する一切の届出を所轄官庁に提出する事。 ○ 工事施工中、周辺道路、工作物、農地には工事による支障をきたさぬよう十分に配慮すること。又、事前事後の調査(写真撮影)を行い、不備があった場合は、確実に復旧すること。 ○ 工事施工中、敷地内外の清掃、除草等、環境美化に努力すること。 ○ 工事施工中、現場より発生する建設産業廃棄物は関係法規を遵守し、適正処理を行うこと。
	③ 緊急時の対策	○ 緊急時の連絡体制票は必ず現場事務所に設置し監督職員に提出すること ○ 下記の緊急時施工体制票を提出し、対策について監督職員の承認を得ること。 自然災害(荒天時) ・ 掘削面の崩壊・足場、仮囲いの倒壊 自然災害(地震時) ・ 火災、燃料の流出、掘削面の崩壊、足場からの転落 事故(運搬事故) ・ 人身事故、車両事故、廃棄物の飛散・流出 事故(作業事故) ・ 車両どうしの接触、重機の転倒、巻き込まれ、掘削面の崩壊、転落 事故(施設事故) ・ 停電、電線・電話線の切断、解体建物の崩壊 その他異常時(周辺環境事故) ・ 現場周辺への廃棄物漏洩
	④ 騒音振動の防止	○ 低騒音型、低振動型建設機械指定要項に基づき、指定された建設機械を使用する。
	⑤ その他の注意事項	○ 特別管理廃棄物及び特殊な建設副産物について、調査を行い適正に処理すること ○ 溶断等火気を使用する場合は、火の粉塵が飛散しないよう対策を講じるとともに、火気を使用する付近に消火器を準備する。 ○ 工事現場の整理整頓を行い、事故、有害物の漏洩のない現場整理を行うこと ○ 解体材を敷地内において焼却したり埋設することは一切認めない。また、引当は破片を残さないよう、特に注意すること ・ 既設建築部分で、本工事に影響のある部分については解体撤去処分とする。見切りは原則として、すべて「作付」が切りによるものとする。 ○ 解体に伴う仮囲い、養生等は、受注者の責任において騒音、粉塵が発生しないよう十分に配慮すること。 ・ 解体建物(解体する建物内外にある物品、機器類すべてを含む)は特記なき限り、地盤面下も含め分別解体撤去すること。(地盤面下は捨てコンクリートを含むものとし、根切り土は埋戻しとする。) ・ 解体部分の廃材投棄場所等については請負人において選定し、事前に監督員に報告すると共に産業廃棄物処理法に基づき契約を締結のこと。 ○ 工事実施にあたっては、風向き等に留意し近隣に迷惑を及ぼさぬ様配慮し、必要時は監督員と協議の上工事の一時中止の措置を行うこと。 ○ 解体作業により万一近隣建物及び工作物に損傷を与えたり、その構造機能を低下させた場合は、請負人の責任において復旧に復旧すること。また、搬入出時に道路等に損傷を与えたり、汚した場合も請負人の責任において復旧に復旧すること。 ○ 工事中は適時散水を行い、粉塵の飛散を極力防止すること。 ○ 解体に先立ち、図示部分以外についても建材等のアスベスト含有の有無を確認し、含有する建材等があった場合は監督員に直ちに報告し、その処理方法について協議すること。 ○ アスベスト成形板については、関係法令等に基づき専門業者が所定の方法で解体撤去し、適切に処分すること。
	⑥ 石綿含有建材の事前調査	○ 大気汚染防止法、労働安全衛生法、石綿障害予防規則、その他石綿処理に関する諸法令等に基づき実施すること。 ○ 石綿の事前調査は、建築物石綿含有建材調査者講習登録規程に規定する建築物石綿含有建材調査者等、一定の知見を有する者が実施するよう努めること。 ○ 事前調査結果は書面で発注者に説明すること。 ○ 事前調査結果を作業場に備え付け、掲示すること。

訂正事項	

株式会社 水原建築設計事務所	滋賀県立大学工学部屋外廊下耐火被覆改修工事	建築改修工事特記仕様書(2)	SHEET NO.
一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第643号 一級建築士登録 第19285号	北村 通		A-02
彦根市長曾根南町443番地 TEL 0749-22-1679	DRAWN BY	CHECKED BY	DATE
	SUBMITTED BY	SCALE	A1 - A3 -

■ 付近見取図



改修工事場所

工事場所：滋賀県彦根市八坂町2500

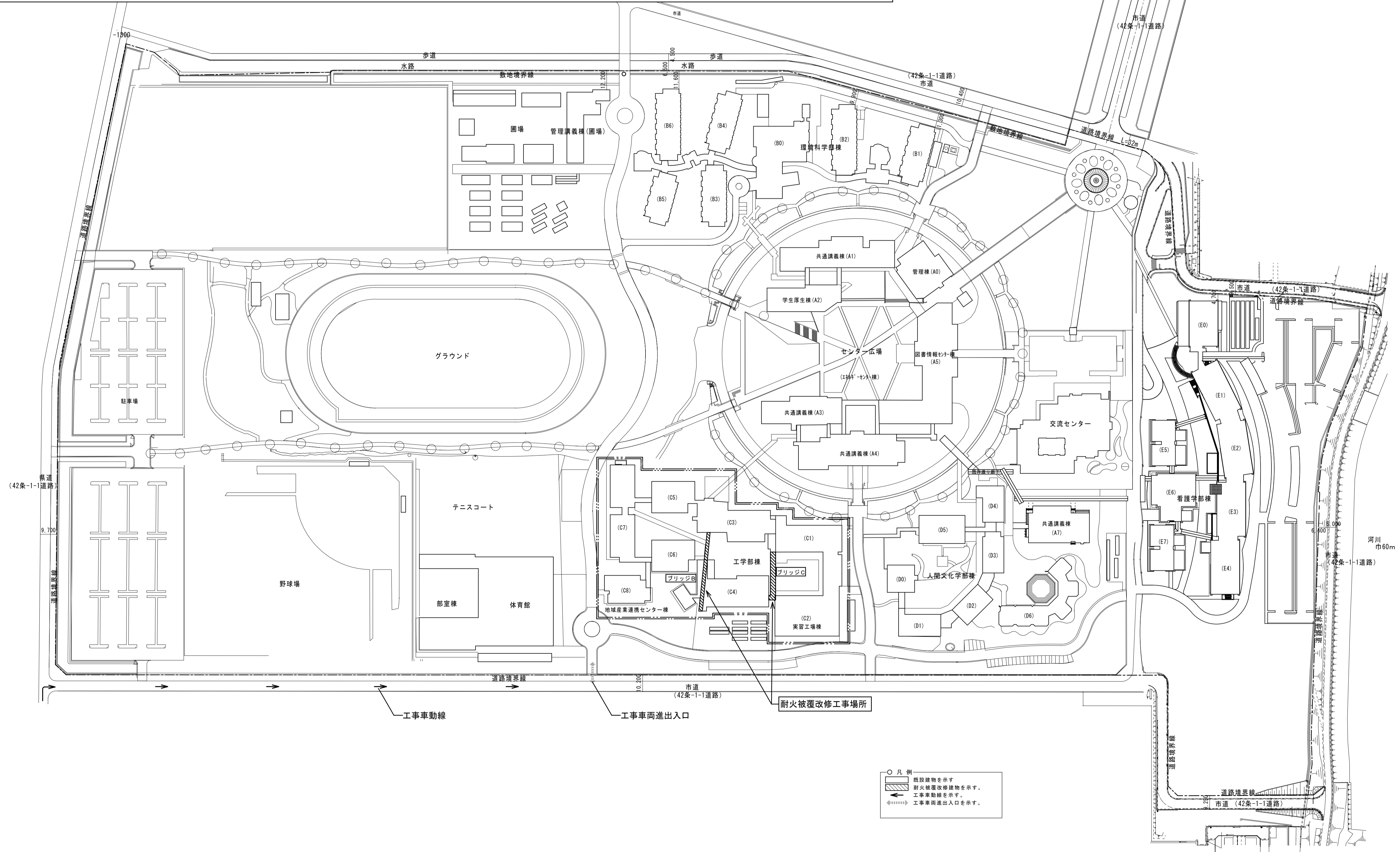
■ 工事概要

- ・工学部屋外廊下：既設柱 耐火被覆材劣化部を撤去の上、耐火被覆材吹付け改修を行う。

■ 特記事項

- ・本工事は建物を使用しながらの工事のため、実施工程及び仮設計画の作成にあたり、大学行事を十分に把握し、運営に支障をきたさないよう大学関係者と十分に協議を行うこと。
- ・工事工程表、仮設計画については、施工者の責任において計画案を立案し、関係者との協議を十分行い、監督職員の承諾を得ること。
- ・安全確保のため、施工場所ブリッジB、Cのいずれか一方は避難通路として確保できる工事計画とすること。
- ・工事着手前に監督職員、施設管理者と工法、安全対策、作業時間等十分協議した上で着手すること。騒音、振動を伴う作業は原則土曜日又は日曜日とする。
- ・作業可能時間は午前9時00分から午後5時30分までとする。
- ・大型車両が搬入する場合は、事前に大学関係者の承認を得ると共に、交通誘導員を適切に配置すること。
- ・工事の施工範囲、施工方法について、施設管理者に十分説明を行うこと。特に、騒音、粉塵の低減については十分配慮した工法とすること。
- ・工事の資材搬入通路は、必要に応じて敷き鉄板等で養生を行い、利用後は毎日清掃を行うこと。
- ・既設取り合い部においては、既設建物寸法など図示あるも、事前調査を十分に行い、納まりなど監督職員との協議の上施工を行うこと。
- ・本改修工事に伴い、既設配管・既設設備機器など十分配慮し、損傷を与えないよう注意すること。なお損傷を与えた場合は、施工者の責任において速やかに現状復旧すること。
- ・学生や施設関係者の安全を確保した足場設置を行うこと。足場設置にあたり、資機材等の落下防止措置を講ずること。

■ 配置図 S=1/1400



訂正事項


株式会社 水原建築設計事務所  
 一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号  
 一級建築士登録 第219285号 北村 通  
 彦根市長曾根南町4-4-8 番地 TEL 0749-22-1679

滋賀県立大学工学部屋外廊下耐火被覆改修工事

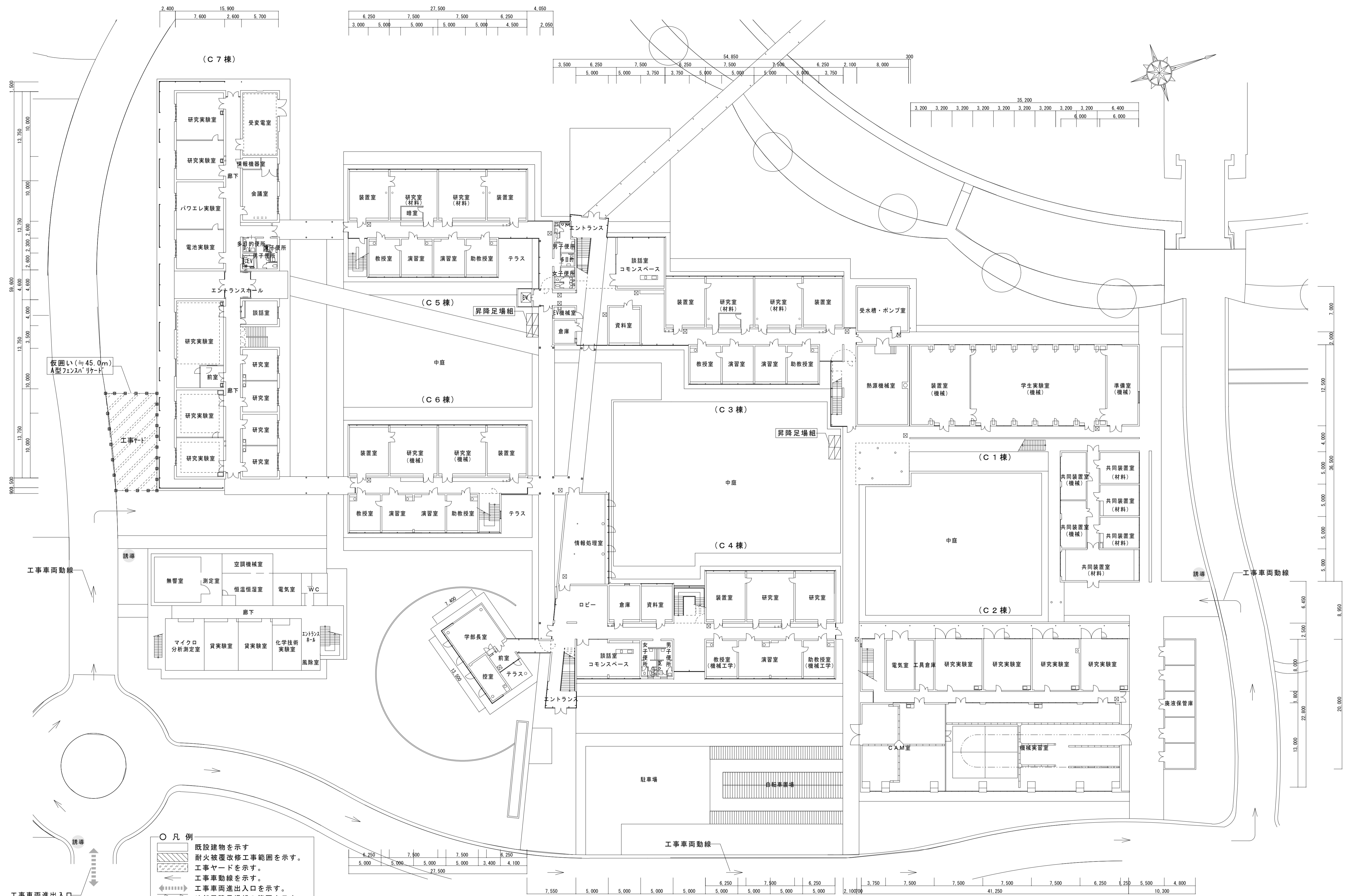
DRAWN BY      CHECKED BY      SUBMITTED BY

付近見取図、配置図、工事概要

DATE      SCALE 1/1400 (A1)  
 1/2800 (A3)

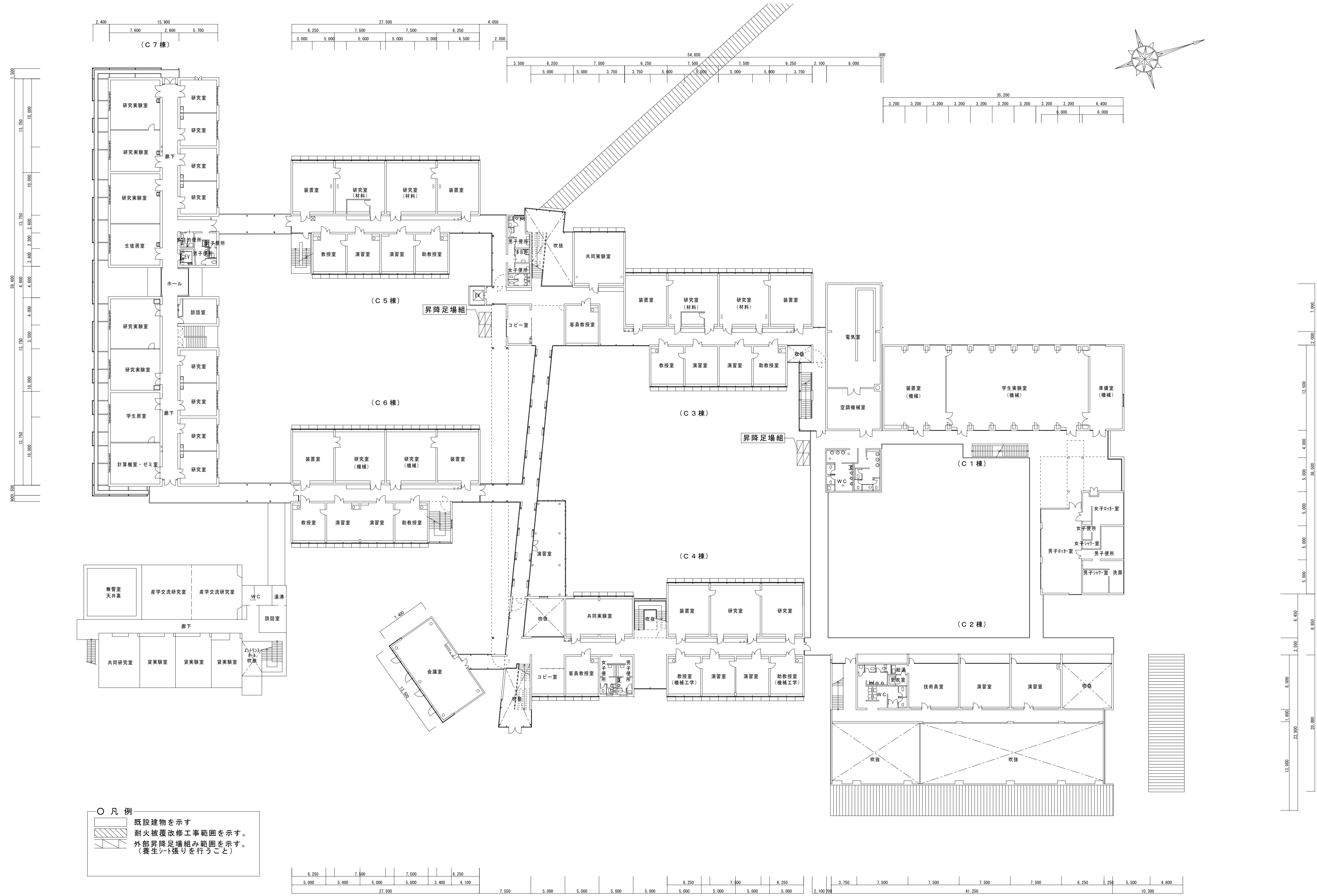
SHEET NO.

A-03



- 凡例
- 既設建物を示す
  - ▨ 耐火被覆改修工事範囲を示す。
  - ▨ 工事ヤードを示す。
  - 工事車動線を示す。
  - ⇄ 工事車両進出入口を示す。
  - ▨ 外部昇降足場組み範囲を示す。(養生シート張りを行うこと)
  - 仮囲い範囲を示す(≒45m)(A型フェンスハリケード)
  - 交通誘導員を示す。(5名程度)

現状 1 階平面図 S=1/300

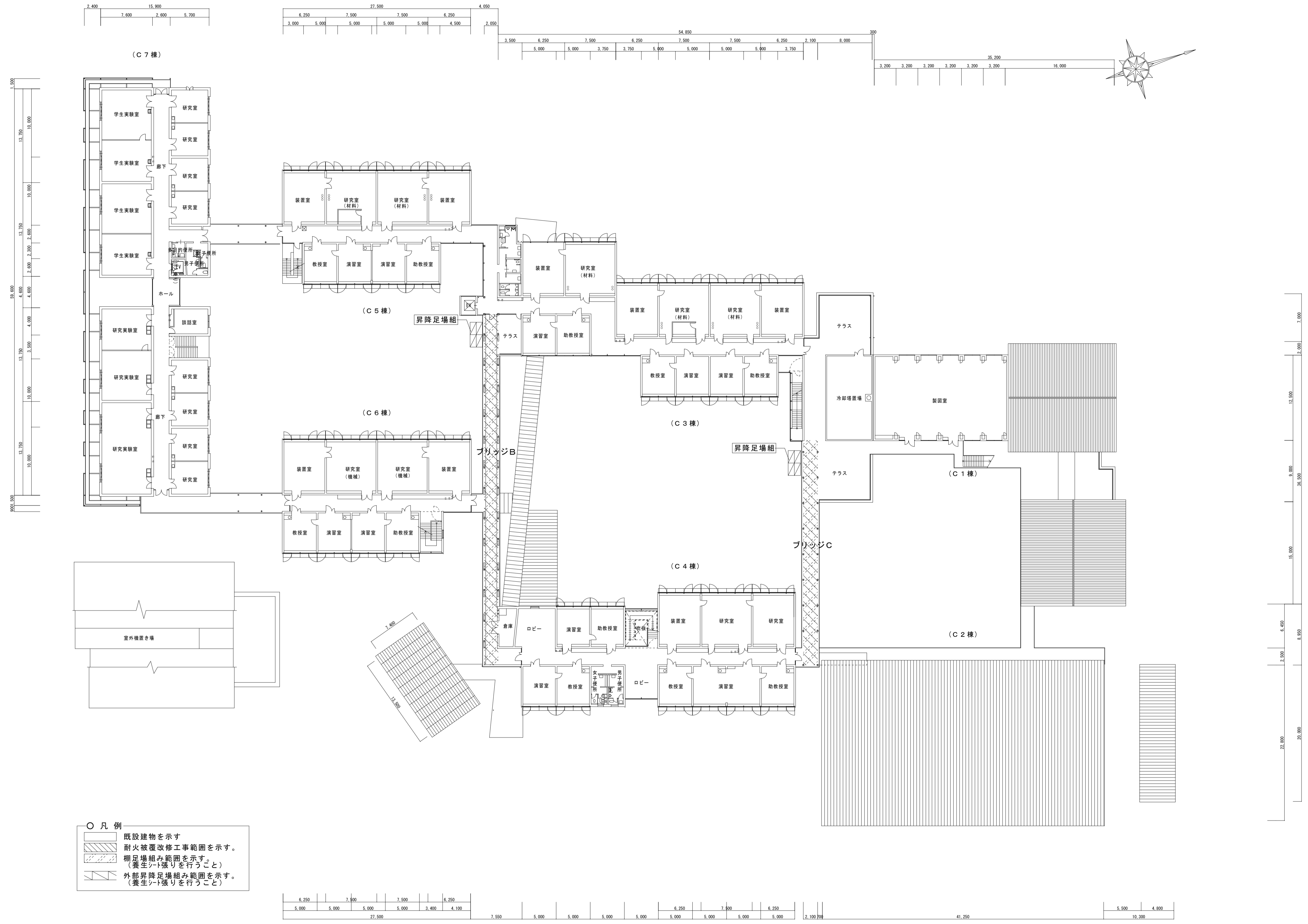


○ 凡例

既設建物を示す  
 耐火被覆改修工事範囲を示す。  
 外部昇降足場組み範囲を示す。  
 (養生シート張りを行うこと)

現状2階平面図 S=1/300

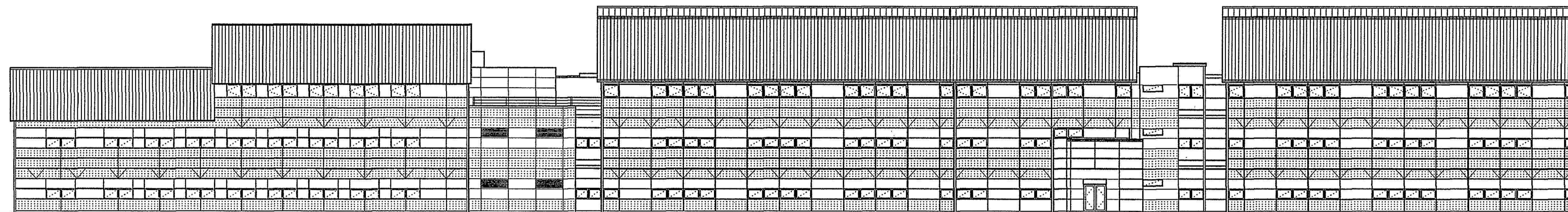
訂正事項		株式会社 水原建築設計事務所 一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号 一級建築士登録 第219285号 北村 通 彦根市長曾根南町4-4-8 番地 TEL 0749-22-1679	滋賀県立大学工学部屋外廊下耐火被覆改修工事 DRAWN BY _____ CHECKED BY _____ SUBMITTED BY _____	現状2階平面図 DATE _____ SCALE 1/300 (A1) 1/600 (A3)	SHEET No. A-05



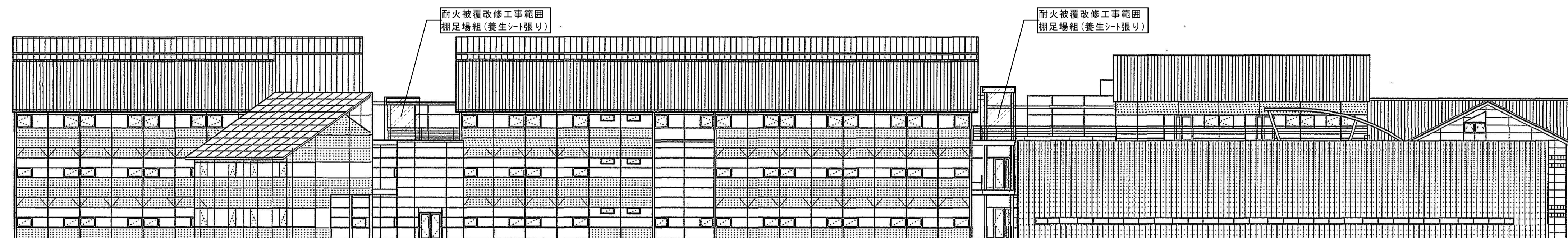
- 凡例
- 既設建物を示す
  - ▨ 耐火被覆改修工事範囲を示す。
  - ▨ 欄干組み範囲を示す。(養生シート張りを行うこと)
  - ▨ 外部昇降足場組み範囲を示す。(養生シート張りを行うこと)

現状3階平面図 S=1/300

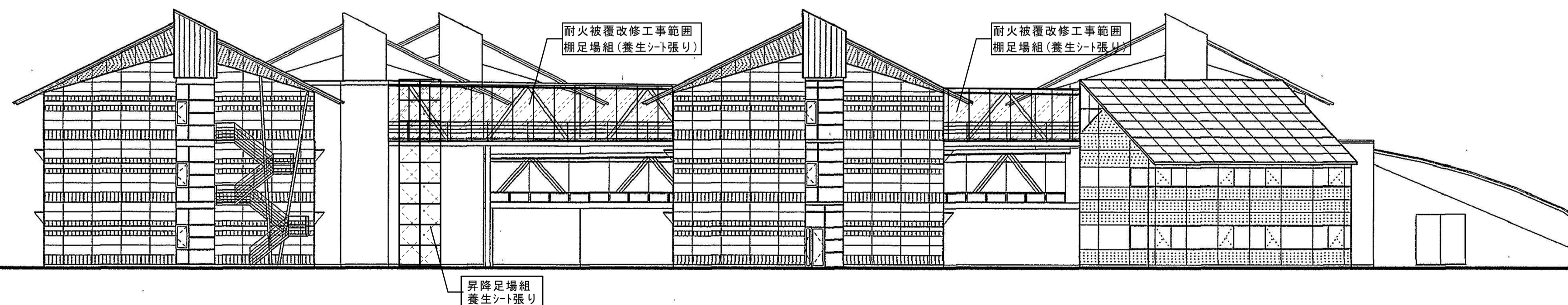
訂正事項	株式会社 水原建築設計事務所 一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号 一級建築士登録 第219285号 北村 通 彦根市長曾根南町4-4-8 番地 TEL 0749-22-1679		滋賀県立大学工学部屋外廊下耐火被覆改修工事		現状3階平面図		SHEET No.
	DRAWN BY	CHECKED BY	SUBMITTED BY	DATE	SCALE	1/300 (A1) 1/600 (A3)	A-06



西立面図



東立面図



南立面図

訂正事項


株式会社 水原建築設計事務所  
 一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号  
 一級建築士登録 第219285号 北村 通  
 彦根市長曾根南町4-4-3 番地 TEL 0749-22-1679

滋賀県立大学工学部屋外廊下耐火被覆改修工事

DRAWN BY      CHECKED BY      SUBMITTED BY

現状立面図 1

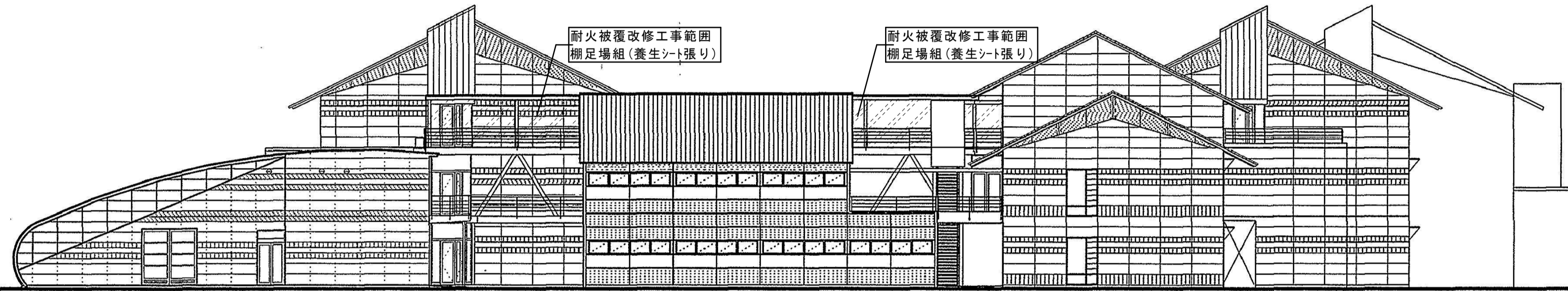
DATE

SCALE 1/300 (A1)  
1/600 (A3)

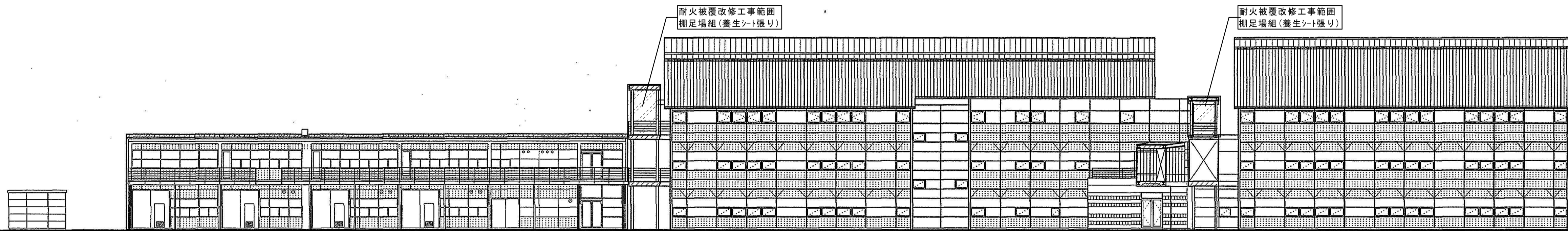
SHEET NO.

A-07

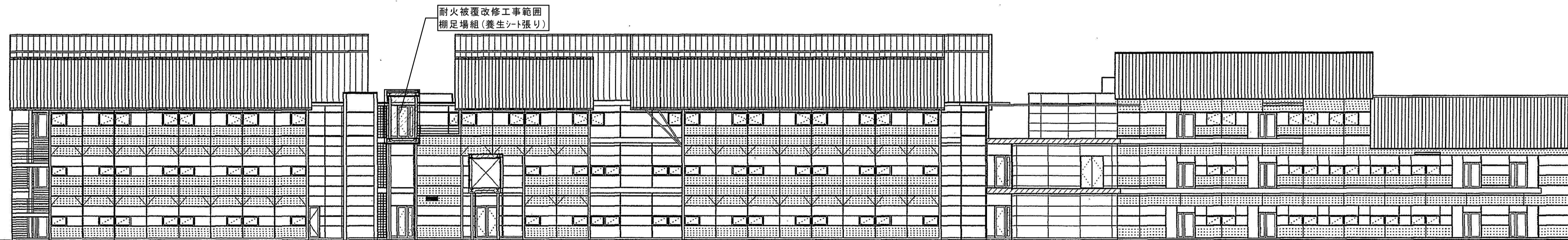




北立面図



中庭側 西立面図



中庭側 東立面図

訂正事項


株式会社 水原建築設計事務所  
 一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号  
 一級建築士登録 第219285号 北村 通  
 彦根市長曾根南町4-4-3 番地 TEL 0749-22-1679

滋賀県立大学工学部屋外廊下耐火被覆改修工事

DRAWN BY      CHECKED BY      SUBMITTED BY

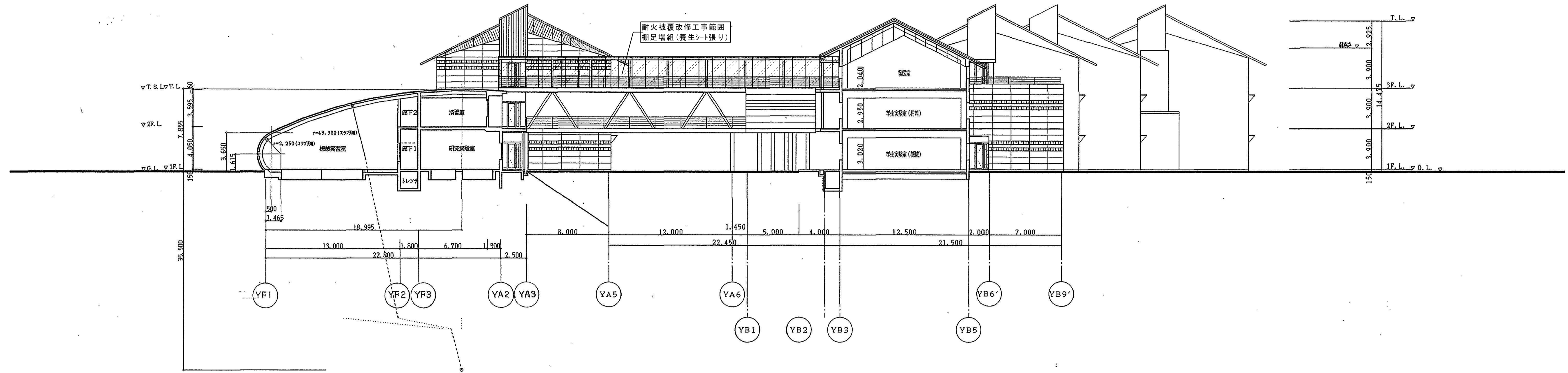
現状立面図2

DATE

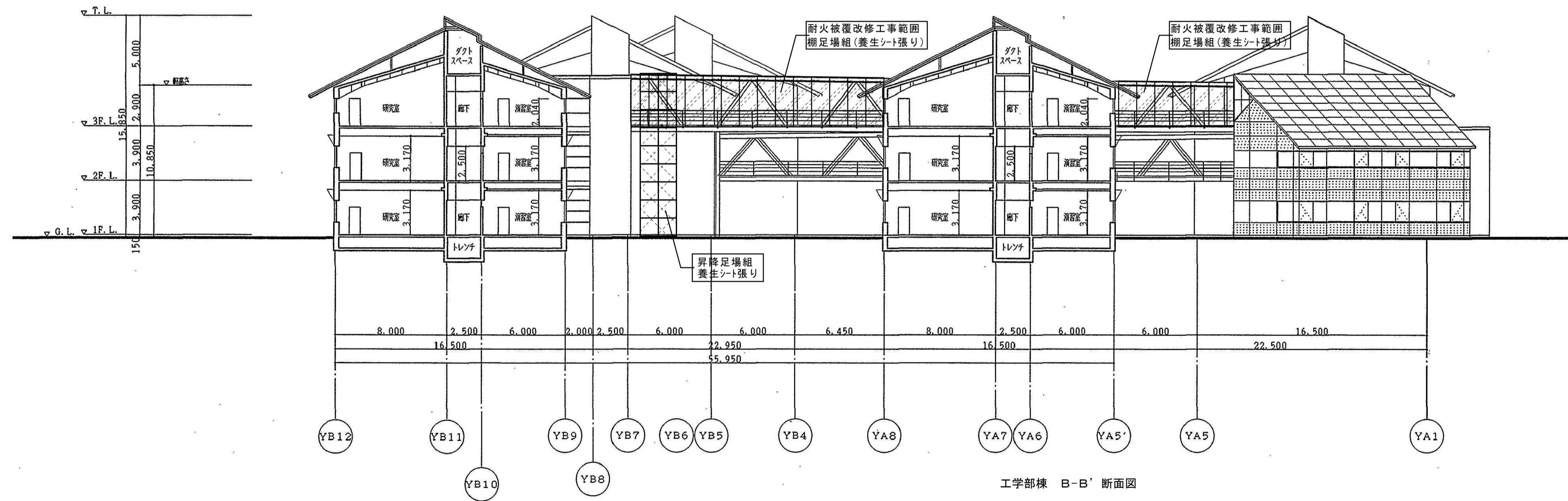
SCALE 1/300 (A1)  
1/600 (A3)

SHEET NO.

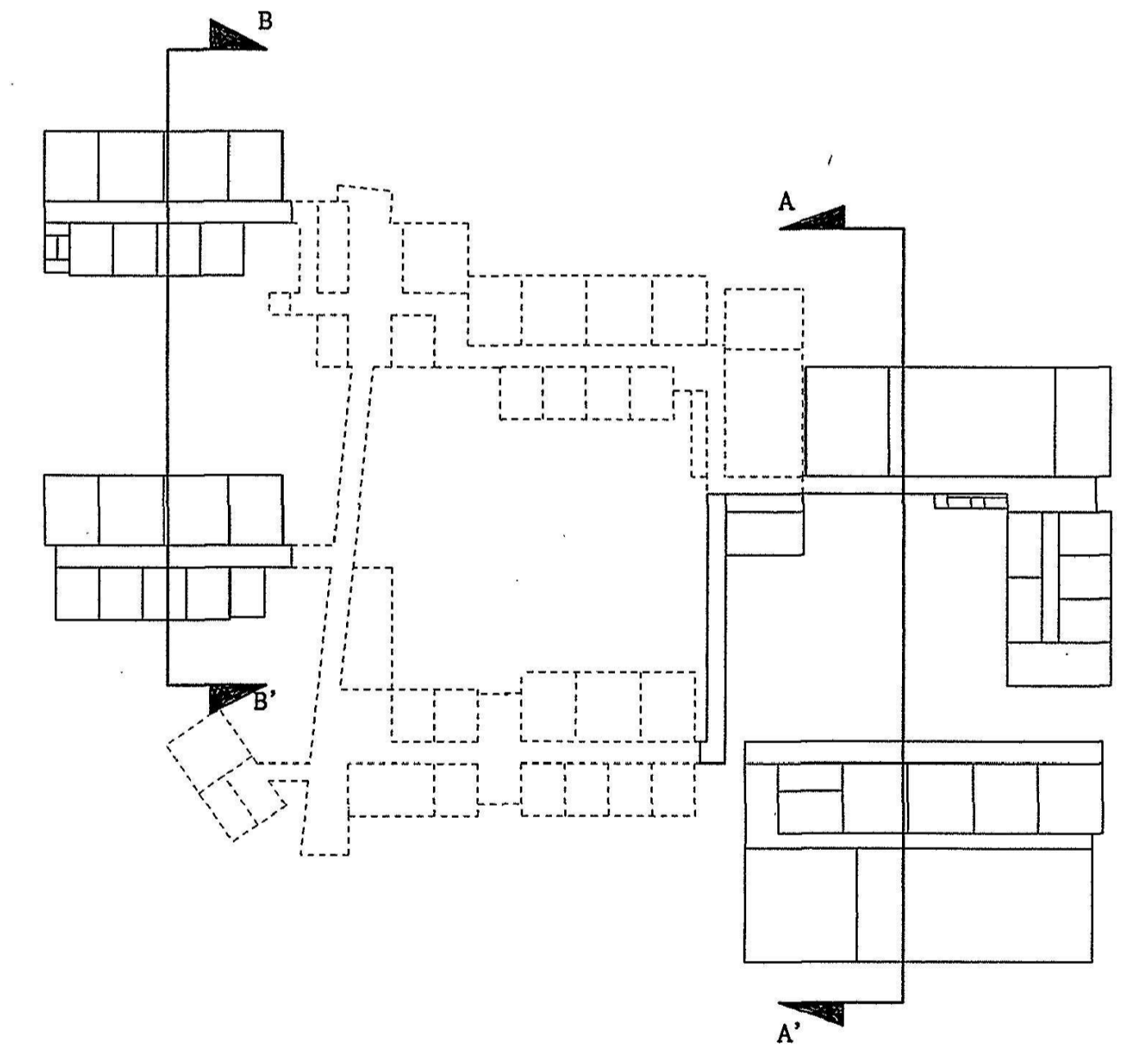
A-08



工学部棟 A-A' 断面図



工学部棟 B-B' 断面図



訂正事項	

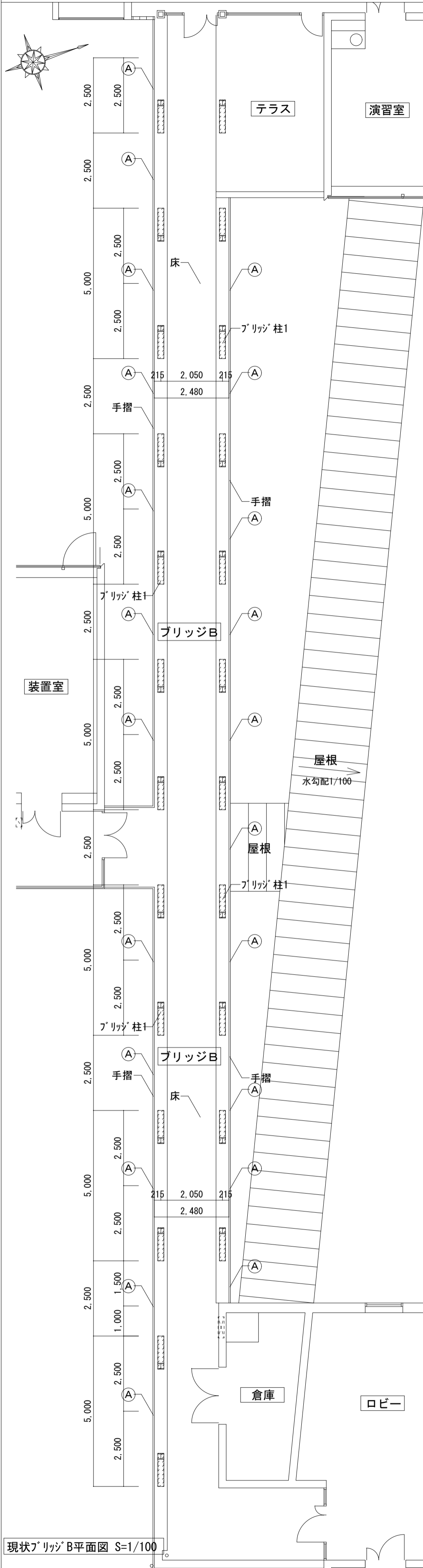
株式会社 水原建築設計事務所  
 一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号  
 一級建築士登録 第219285号 北村 通  
 彦根市長曾根南町4-4-8 番地 TEL 0749-22-1679

滋賀県立大学工学部屋外廊下耐火被覆改修工事

DRAWN BY	CHECKED BY	SUBMITTED BY	DATE	SCALE 1/300 (A1) 1/600 (A3)
----------	------------	--------------	------	--------------------------------

現状断面図	SHEET NO.
	A-09

■ 現状ブリッジB 平面図 S=1/100

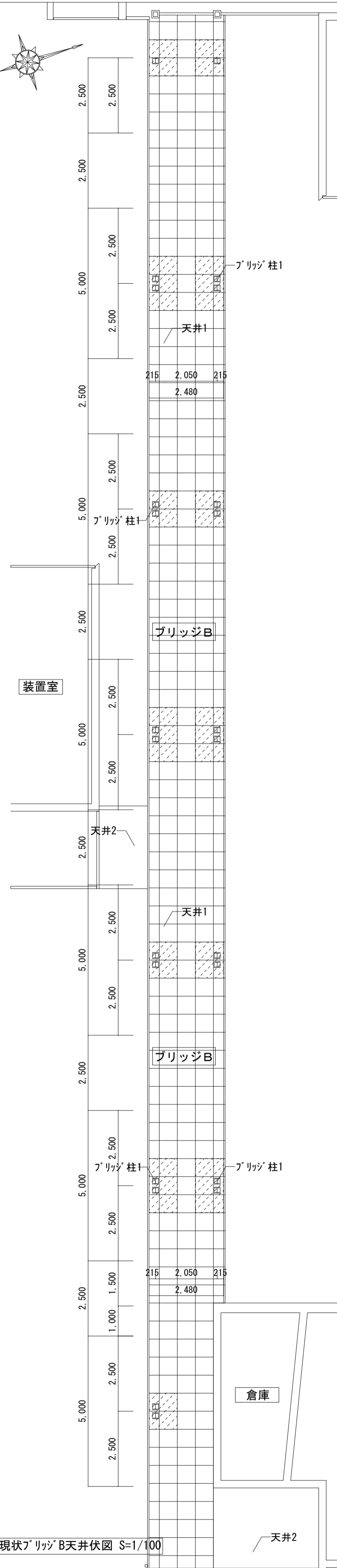


○ 凡例

- 床 塗布防水の上 顔料入りカラー珪藻土厚190 伸縮目地入り
- 手摺 手摺34φ×2.3 溶融垂鉛付処理の上 樹脂樹脂付処理
- 手摺子 FB-50×6 溶融垂鉛付処理の上 樹脂樹脂付処理
- フシヨウグ リンパ - 片ストップ 付きワイヤ-5φ 【取外し】
- 巾木 7φ製パネリング 加工取付 【取外し】
- ブリッジ柱1 柱H=1000以下
- 5x下地(力骨9φ丸鋼)+セミンク耐火被覆材 厚20塗り
- +下地調整の上もみり塗り
- 柱H=1000以上
- 5x下地(力骨9φ丸鋼)+セミンク耐火被覆材 厚20塗り 【撤去処分】
- +下地調整の上AEP塗装 【撤去処分】
- 屋根 パーライトモルタル下地+7φ製パネリング 22kg/m<sup>3</sup>
- +発砲ポリスチレンシート 厚4.0張り+ステンレス溶接工法 厚0.4置き

- 解体撤去範囲
- 柱H=1000以上
  - 耐火被覆材撤去処分範囲を示す。仕上げ下地共撤去処分
  - 既設手摺ワイヤ-5φ+7φ製パネリング 巾木
  - 取外し箇所を示す。

■ 現状ブリッジB 天井伏図 S=1/100

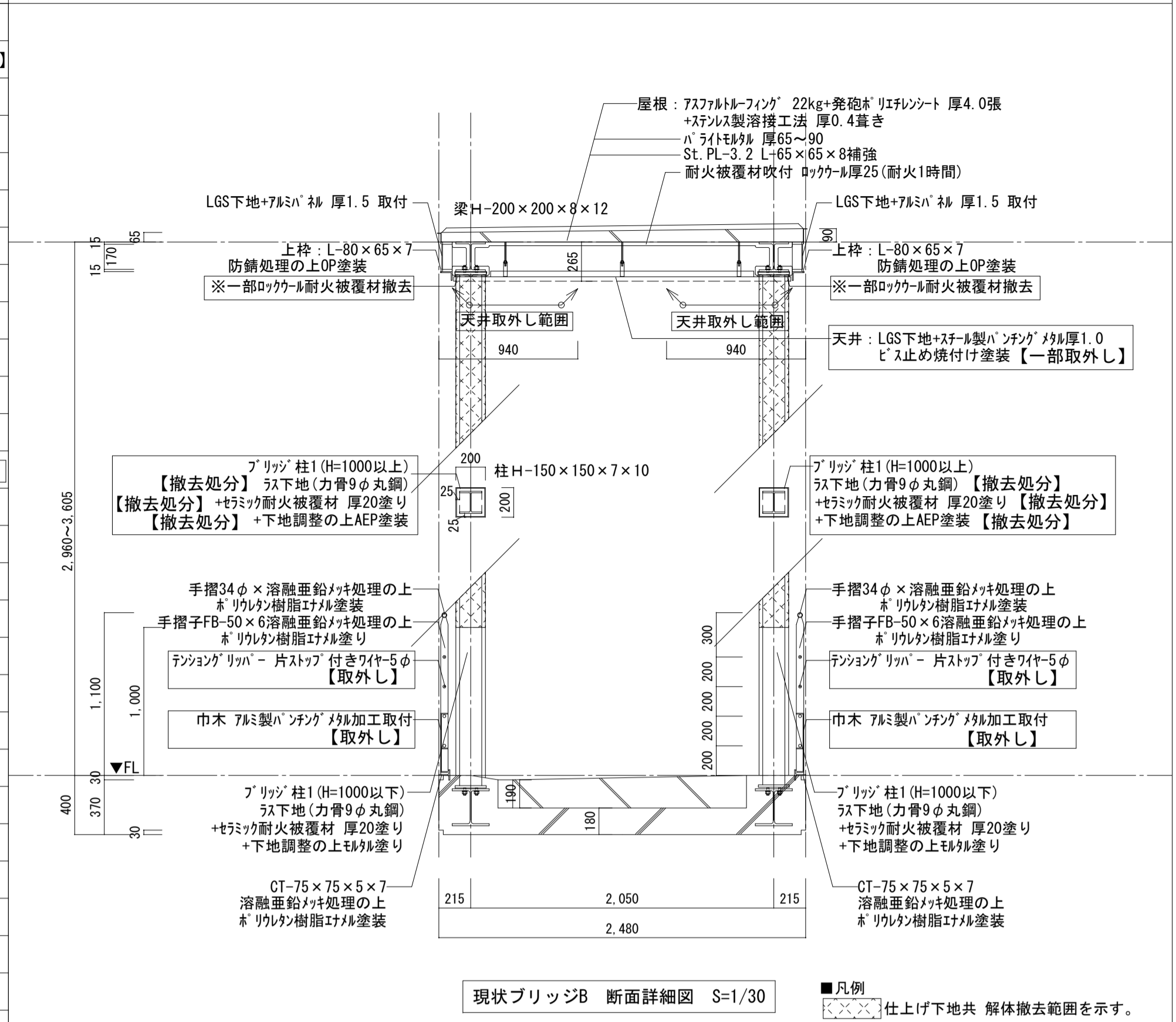


○ 凡例

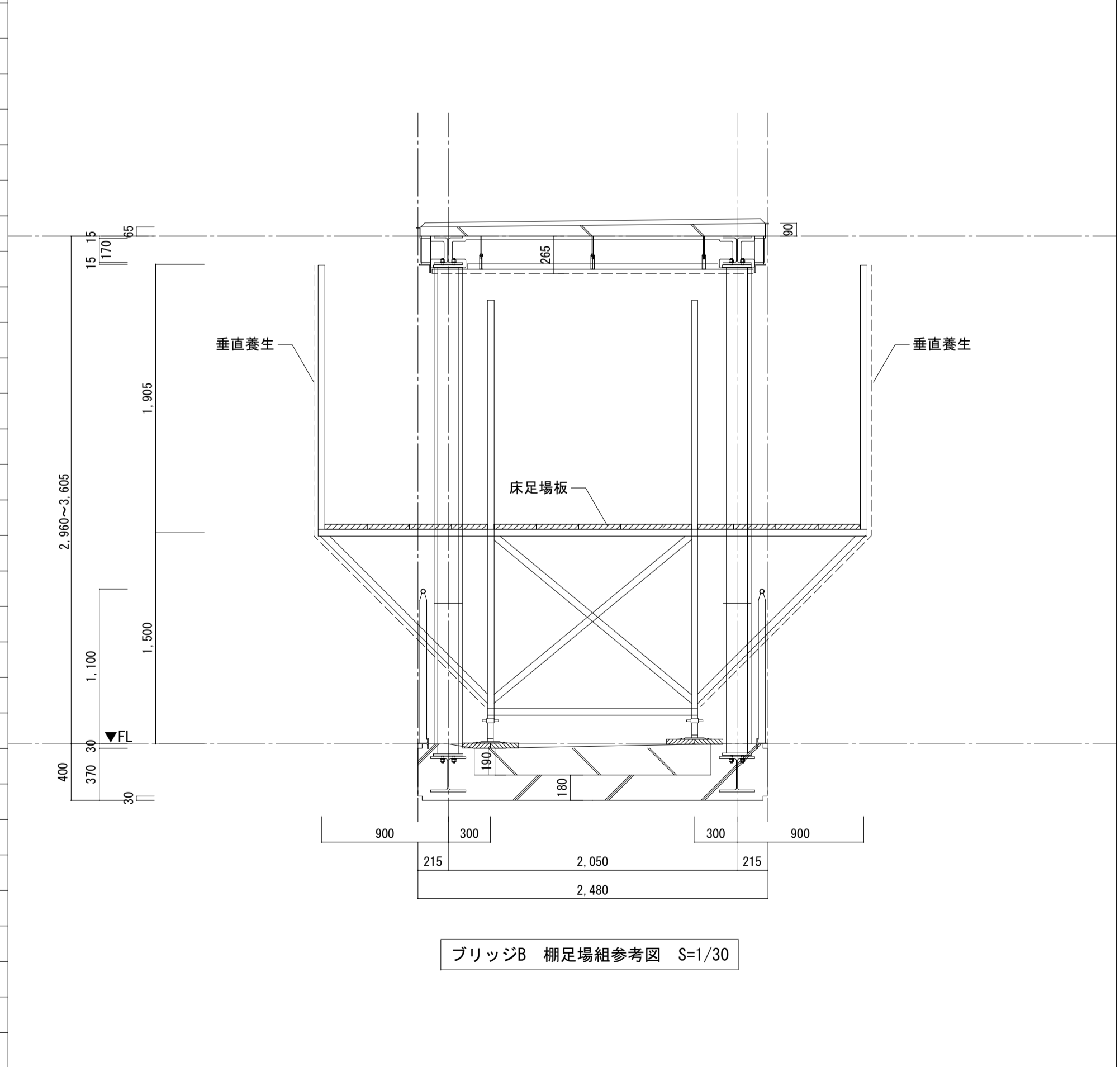
- 天井1 LGS下地+7φ製パネリング 厚1.0 ビス止め焼付塗装【一部取外し】
- 天井2 コンクリート打ち放し
- ブリッジ柱1 柱H=1000以下
- 5x下地(力骨9φ丸鋼)+セミンク耐火被覆材 厚20塗り
- +下地調整の上もみり塗り
- 柱H=1000以上
- 5x下地(力骨9φ丸鋼)+セミンク耐火被覆材 厚20塗り 【撤去処分】
- +下地調整の上AEP塗装 【撤去処分】

- 解体撤去範囲
- 7φ製パネリング ビス止め 取外し範囲を示す。【取外し】
  - ※柱鉄骨梁取付部：耐火被覆材 ロック厚25取付一部撤去処分を行う。

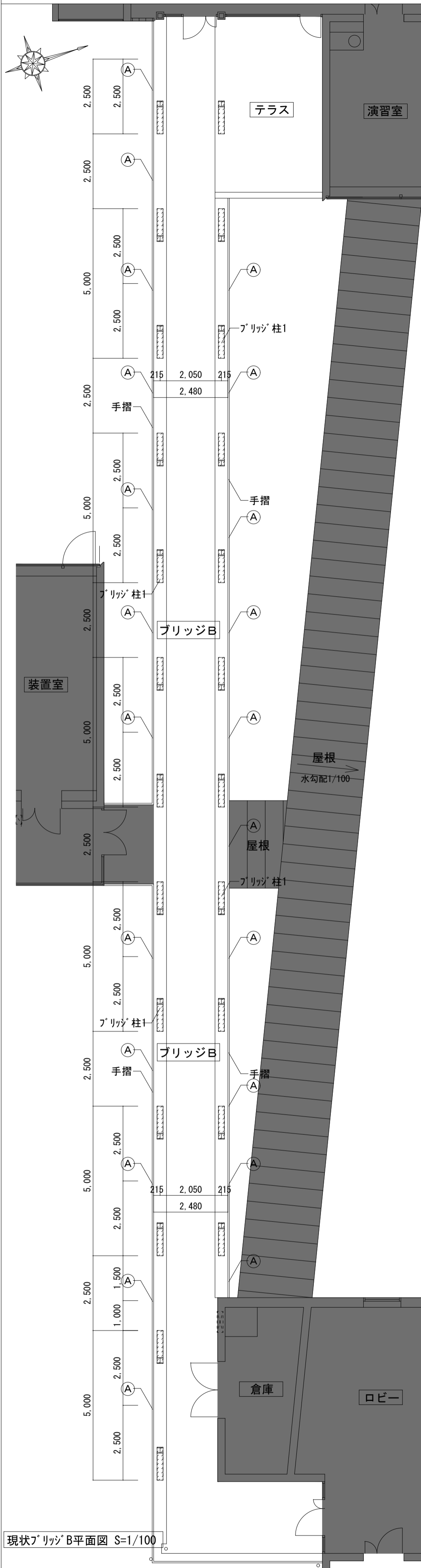
■ 現状ブリッジB 断面詳細図 S=1/30



■ ブリッジB 欄足場組参考図 S=1/30



■ 改修ブリッジB 平面図 S=1/100



現状ブリッジB平面図 S=1/100

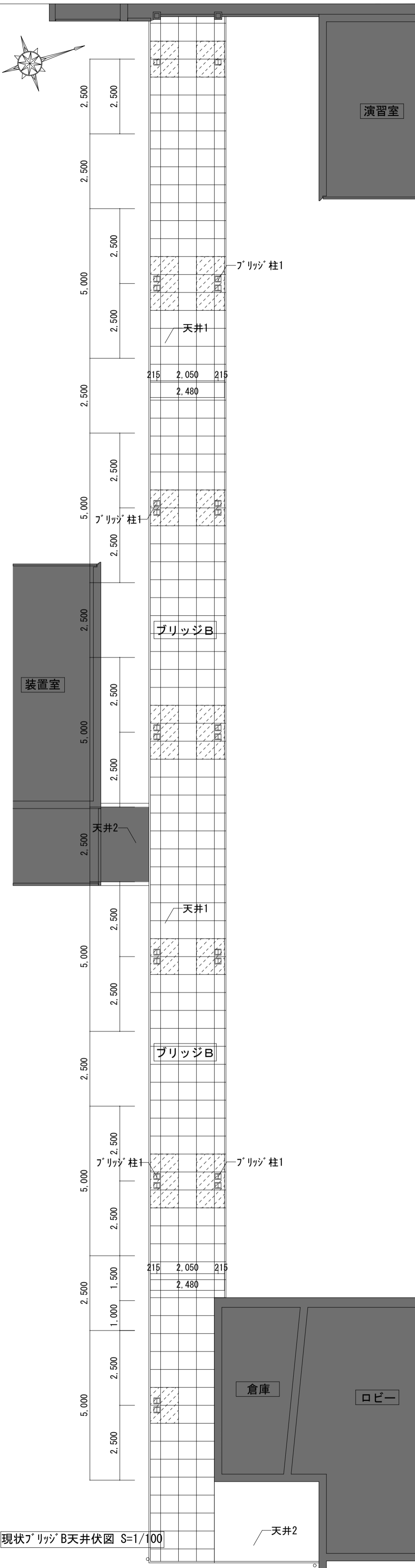
○ 凡例

- 手摺 手摺34φ×2.3 溶融亜鉛メッキ処理の上キリシヤ樹脂塗装
- 手摺子 FB-50×6 溶融亜鉛メッキ処理の上キリシヤ樹脂塗装
- フシヨウグリップ 片スタップ付きワイヤ5φ 【再取付】
- 巾木 7&#246;製ハチンクメタル加工取付 【再取付】
- ブリッジ柱I 柱H=1000以下 【現状のまま】
- 柱H=1000以上
- 既設鉄骨下地素地ごしらえの上 錆止め塗装 【新設】
- +下地(カ骨9φ丸鋼)+セラミック耐火被覆材 厚20塗り【新設】
- +下地調整の上 超低汚染・高耐久NAD型特殊キリシヤ樹脂塗料 【新設】
- 現状のままを示す。

○ 改修範囲

- 柱H=1000以上
- 耐火被覆材撤去処分範囲を示す。仕上下地共新設
- 既設手摺ワイヤ5φ+7&#246;製ハチンクメタル巾木再取付箇所を示す。再取付

■ 改修ブリッジB 天井伏図 S=1/100



現状ブリッジB天井伏図 S=1/100

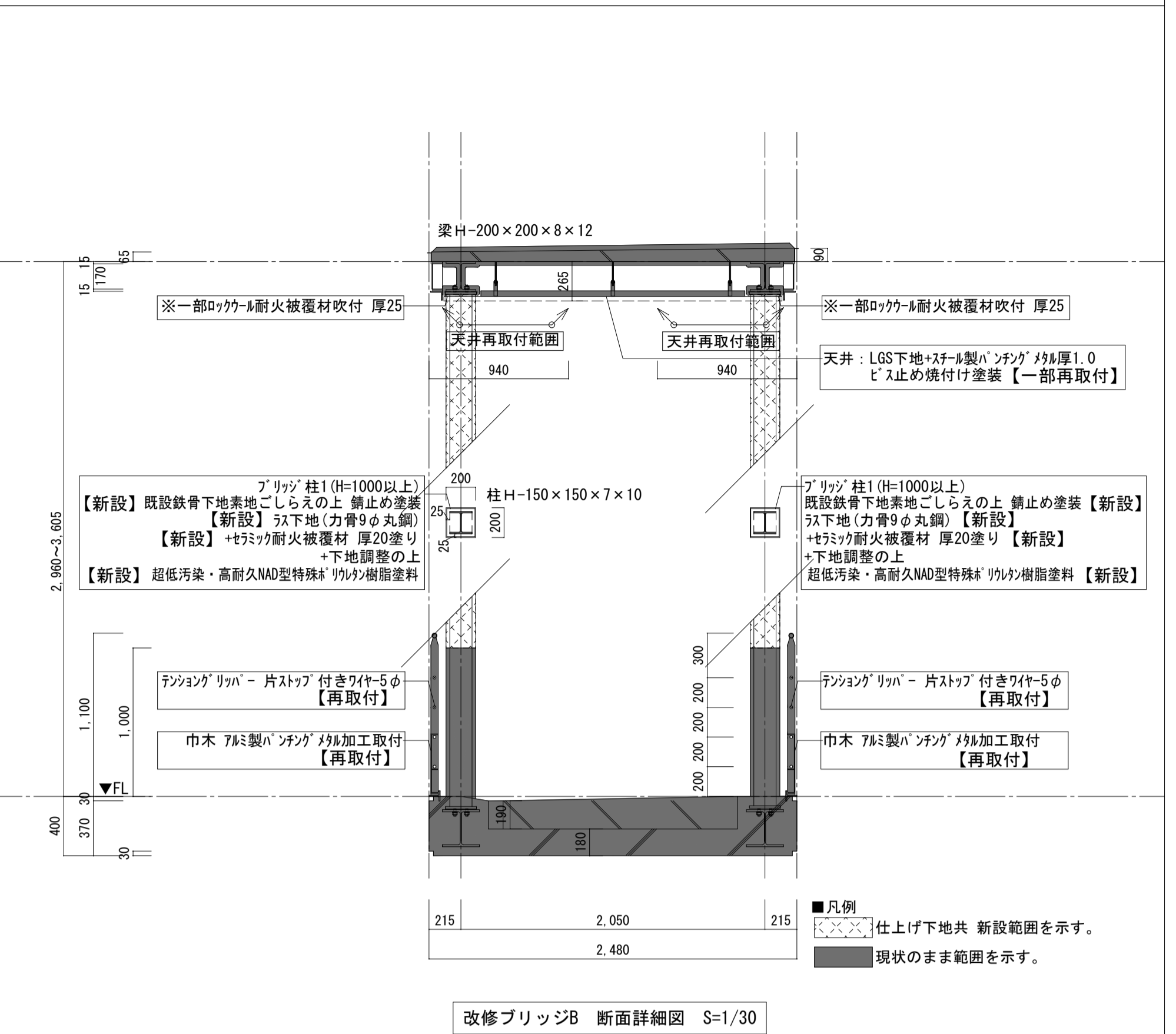
○ 凡例

- 天井1 LGS下地+7&#246;製ハチンクメタル 厚1.0 ビス止め焼付塗装【一部再取付】
- 天井2 コンクリート打ち放し
- ブリッジ柱I 柱H=1000以下 【現状のまま】
- 柱H=1000以上
- 既設鉄骨下地素地ごしらえの上 錆止め塗装 【新設】
- +下地(カ骨9φ丸鋼)+セラミック耐火被覆材 厚20塗り【新設】
- +下地調整の上 超低汚染・高耐久NAD型特殊キリシヤ樹脂塗料 【新設】
- 現状のままを示す。

○ 改修範囲

- 7&#246;製ハチンクメタル ビス止め 取外し範囲を示す。再取付
- ※柱鉄骨梁取付部：耐火被覆材 ロックウール厚25取付一部新設を行う。

■ 改修ブリッジB 断面詳細図 S=1/30



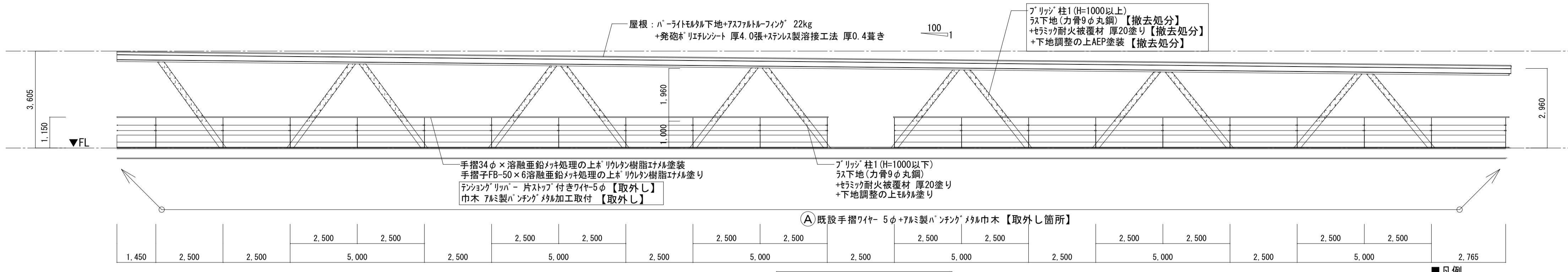
改修ブリッジB 断面詳細図 S=1/30

訂正事項	

株式会社 水原建築設計事務所  
 一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号  
 一級建築士登録 第219285号 北村 通  
 彦根市長曾根南町4-4-3 番地 TEL 0749-22-1679

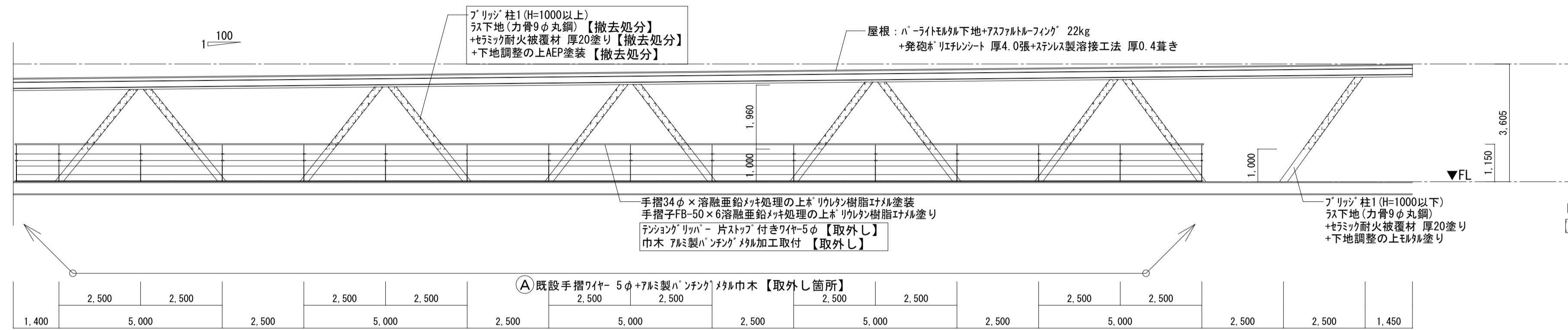
滋賀県立大学工学部屋外廊下耐火被覆改修工事		改修ブリッジB平面図	SHEET No.
		改修ブリッジB天井伏図	A-11
		改修ブリッジB 断面詳細図	
DRAWN BY	CHECKED BY	SUBMITTED BY	DATE
			SCALE 1/30, 1/100 (A1) 1/60, 1/200 (A3)

■ 現状ブリッジB 展開図 S=1/100



現状ブリッジB南面 展開図 S=1/100

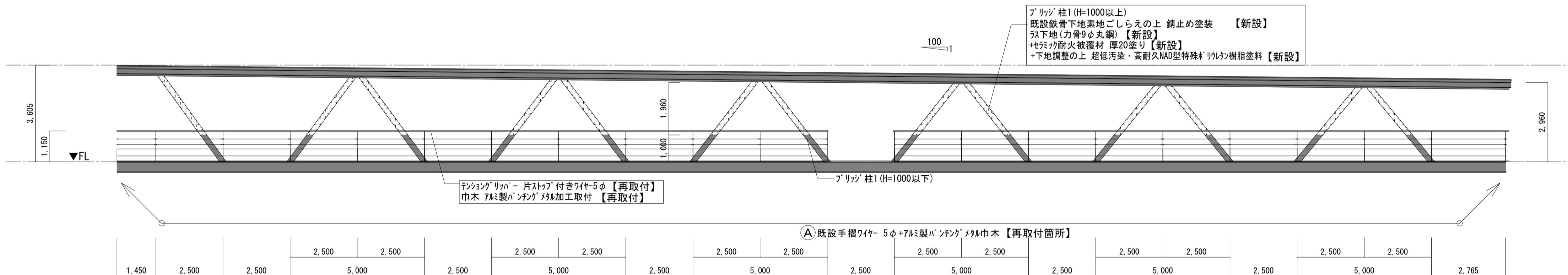
■ 凡例  
 [Pattern] 仕上げ下地共 解体撤去範囲を示す



現状ブリッジB北面 展開図 S=1/100

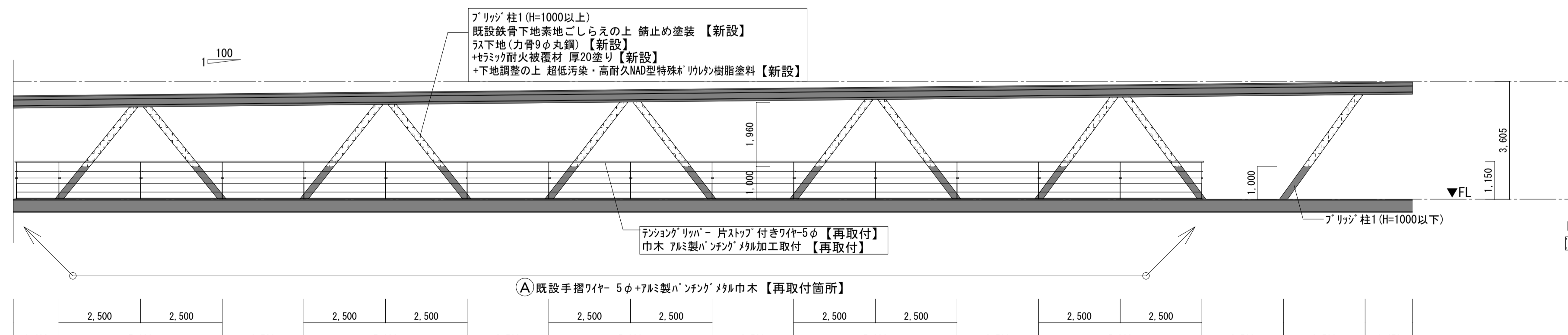
■ 凡例  
 [Pattern] 仕上げ下地共 解体撤去範囲を示す

■ 改修ブリッジB 展開図 S=1/100



現状ブリッジB南面 展開図 S=1/100

■ 凡例  
 [Pattern] 仕上げ下地共 新設範囲を示す



現状ブリッジB北面 展開図 S=1/100

■ 凡例  
 [Pattern] 仕上げ下地共 新設範囲を示す

○ 凡例

- 手摺 手摺34φ×2.3 溶融亜鉛めっき処理の上リフレク樹脂塗装
- 手摺子 FB-50×6 溶融亜鉛めっき処理の上リフレク樹脂塗装
- リンゴリッパ-片ストップ付きワイヤ-5φ 【取外し】
- 巾木 7mm製ハンチング材加工取付 【取外し】

ブレッジ柱1 柱H=1000以下

- 5mm下地(力骨9φ丸鋼)+セメント耐火被覆材 厚20mm
- +下地調整の上もみり塗り
- 柱H=1000以上
- 5mm下地(力骨9φ丸鋼)+セメント耐火被覆材 厚20mm 【撤去処分】
- +下地調整の上AEP塗装 【撤去処分】

屋根

- パーライトモルタル下地+750mm厚フェニックス樹脂 22kg/m3
- +発砲スチロールシート 厚4.0mm+フェニックス樹脂溶接工法 厚0.4mm

○ 解体撤去範囲

- [Pattern] 柱H=1000以上 耐火被覆材撤去処分範囲を示す。 仕上げ下地共撤去処分
- (A) 既設手摺ワイヤ-5φ+7mm製ハンチング材巾木 取外し箇所を示す。 【取外し】

○ 凡例

- ブレッジ柱1 柱H=1000以下 【現状のまま】
- 柱H=1000以上
- 既設鉄骨下地素地ごしらえの上 錆止め塗装 【新設】
- 5mm下地(力骨9φ丸鋼)+セメント耐火被覆材 厚20mm 【新設】
- +下地調整の上 超低汚染・高耐久NAD型特殊リフレク樹脂塗料 【新設】
- [Pattern] 現状のままを示す。

○ 改修範囲

- [Pattern] 柱H=1000以上 耐火被覆材新設範囲を示す。 仕上げ下地共新設
- (A) 既設手摺ワイヤ-5φ+7mm製ハンチング材巾木 再取付箇所を示す。 【再取付】
- ※スイッチ、照明等は現状のままとする。

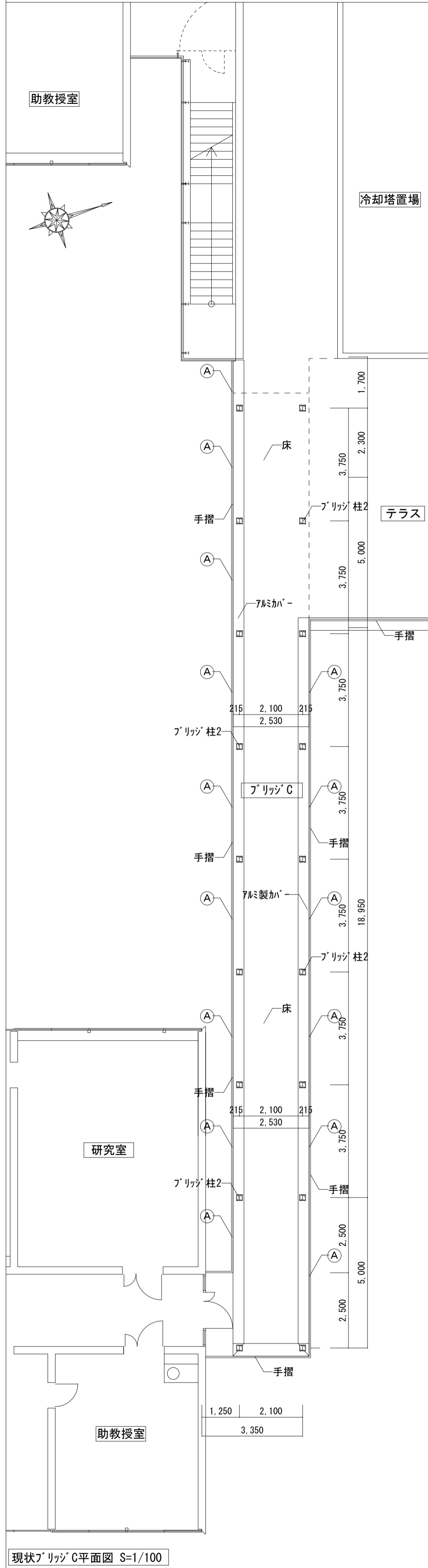
訂正事項	

株式会社 水原建築設計事務所  
 一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号  
 一級建築士登録 第219285号 北村 通  
 彦根市長曾根南町4-4-8 番地 TEL 0749-22-1679

滋賀県立大学工学部屋外廊下耐火被覆改修工事  
 DRAWN BY CHECKED BY SUBMITTED BY  
 DATE SCALE 1/100 (A1) 1/200 (A3)

現状ブリッジB展開図  
 改修ブリッジB展開図  
 SHEET NO. A-12

■ 現状ブリッジC 平面図 S=1/100

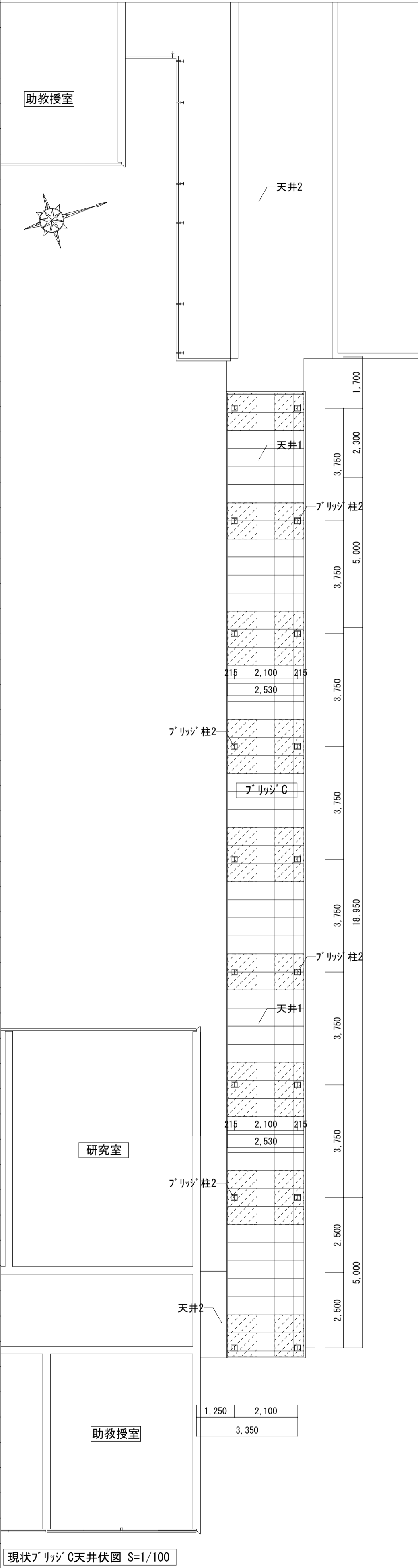


現状ブリッジC平面図 S=1/100

- 凡例
- 床 塗布防水の上 顔料入りカラー珪藻土厚190 伸縮目地入り
  - 手摺 手摺34φ×2.3 溶融垂鉛付処理の上 樹脂樹脂付処理
  - 手摺子 FB-50×6 溶融垂鉛付処理の上 樹脂樹脂付処理
  - フシヨングリッパ - 片スラブ 付きワイヤ5φ 【取外し】
  - 巾木 7&M製パネリング 加工取付 【取外し】
  - ブリッジ柱2 柱H=1000以下
  - 5&M下地(力骨9φ丸鋼)+セミンク耐火被覆材 厚20塗り
  - +下地調整の上 耐水ベニ厚12.5張り+AEP塗装 【撤去処分】
  - 柱H=1000以上
  - 5&M下地(力骨9φ丸鋼)+セミンク耐火被覆材 厚20塗り 【撤去処分】
  - +下地調整の上 耐水ベニ厚12.5張り+AEP塗装 【撤去処分】
  - 7&M製パネ - 7&M製パネ - を示す。

- 解体撤去範囲
- 柱H=1000以上
  - 耐火被覆材撤去処分範囲を示す。 仕上げ下地共撤去処分
  - 既設手摺ワイヤ5φ+7&M製パネリング 巾木 取外し箇所を示す。

■ 現状ブリッジC 天井伏図 S=1/100

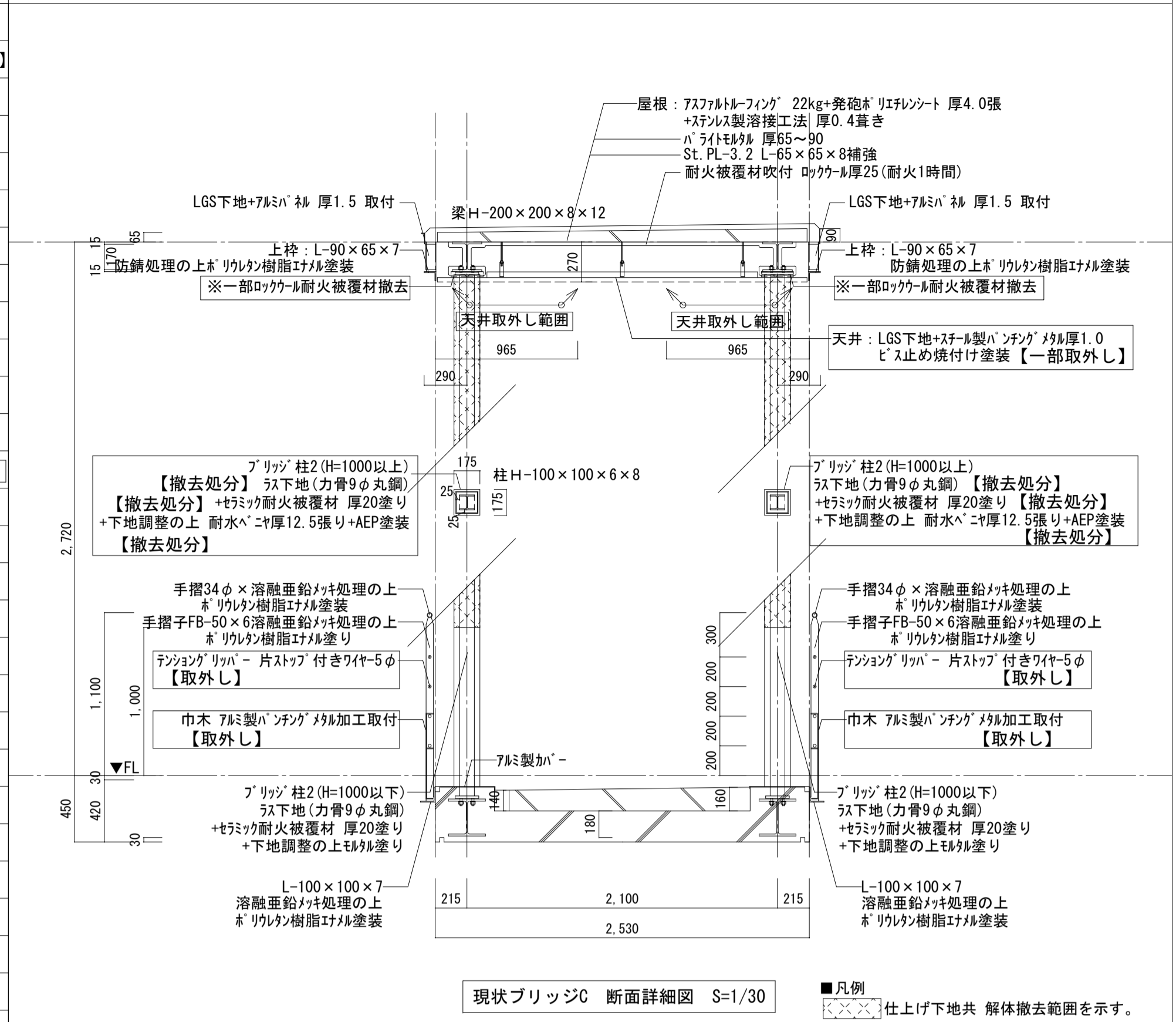


現状ブリッジC天井伏図 S=1/100

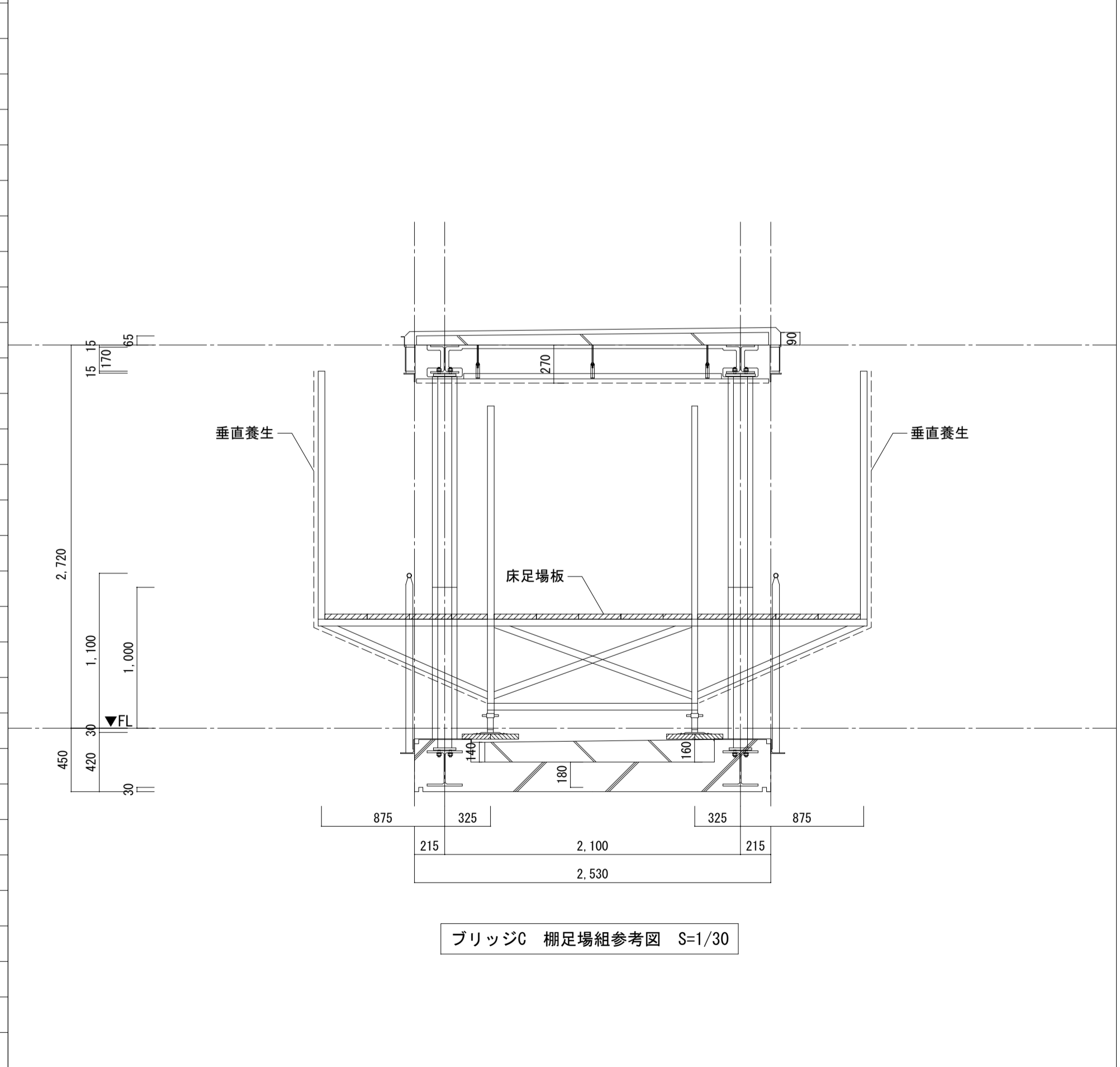
- 凡例
- 天井1 LGS下地+7&M製パネリング 厚1.0 ビス止め焼付塗装【一部取外し】
  - 天井2 コンクリート打ち放し
  - ブリッジ柱2 柱H=1000以下
  - 5&M下地(力骨9φ丸鋼)+セミンク耐火被覆材 厚20塗り
  - +下地調整の上 耐水ベニ厚12.5張り+AEP塗装 【撤去処分】
  - 柱H=1000以上
  - 5&M下地(力骨9φ丸鋼)+セミンク耐火被覆材 厚20塗り 【撤去処分】
  - +下地調整の上 耐水ベニ厚12.5張り+AEP塗装 【撤去処分】

- 解体撤去範囲
- 7&M製パネリング ビス止め 取外し範囲を示す。 取外し
  - ※柱鉄骨梁取付部: 耐火被覆材 ロックウール厚25取付一部撤去処分を行う。

■ 現状ブリッジC 断面詳細図 S=1/30



■ ブリッジC 欄足場組参考図 S=1/30

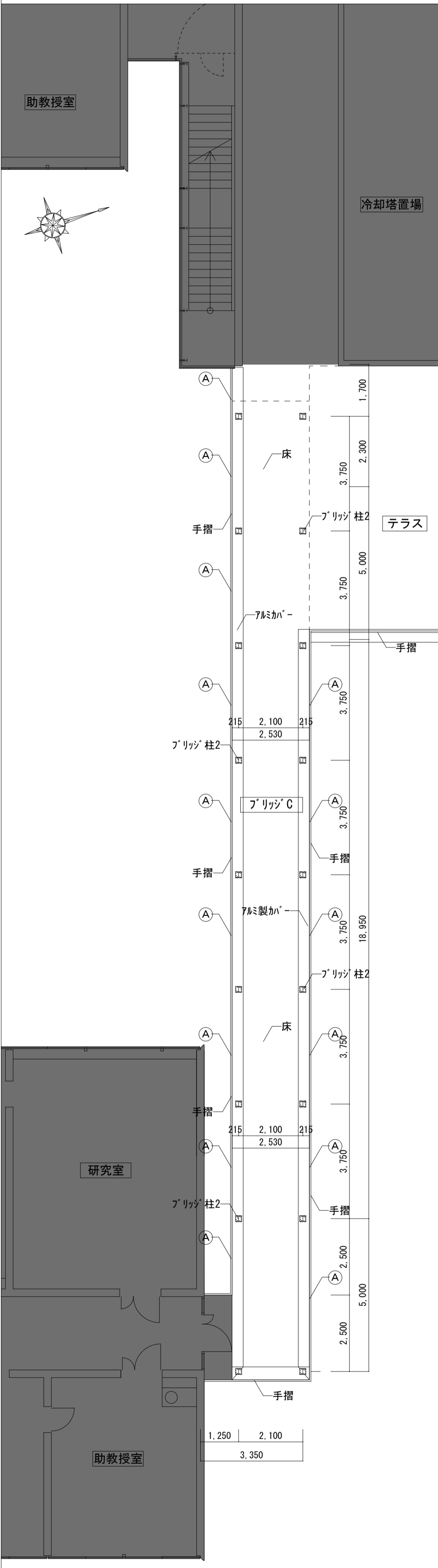


訂正事項	

株式会社 水原 建築設計事務所  
 一級建築士事務所 経費員知事登録 第63号 北村 通  
 一級建築士登録 第219285号  
 彦根市長曾根南町4-4-8 番地 TEL 0749-22-1679

滋賀県立大学工学部屋外廊下耐火被覆改修工事		現状ブリッジC平面図	SHEET No.
		現状ブリッジC天井伏図	
		現状ブリッジC断面詳細図、ブリッジC欄足場組参考図	A-13
DRAWN BY	CHECKED BY	SUBMITTED BY	DATE
			SCALE 1/30, 1/100 (A1) 1/60, 1/200 (A3)

■ 改修ブリッジC 平面図 S=1/100

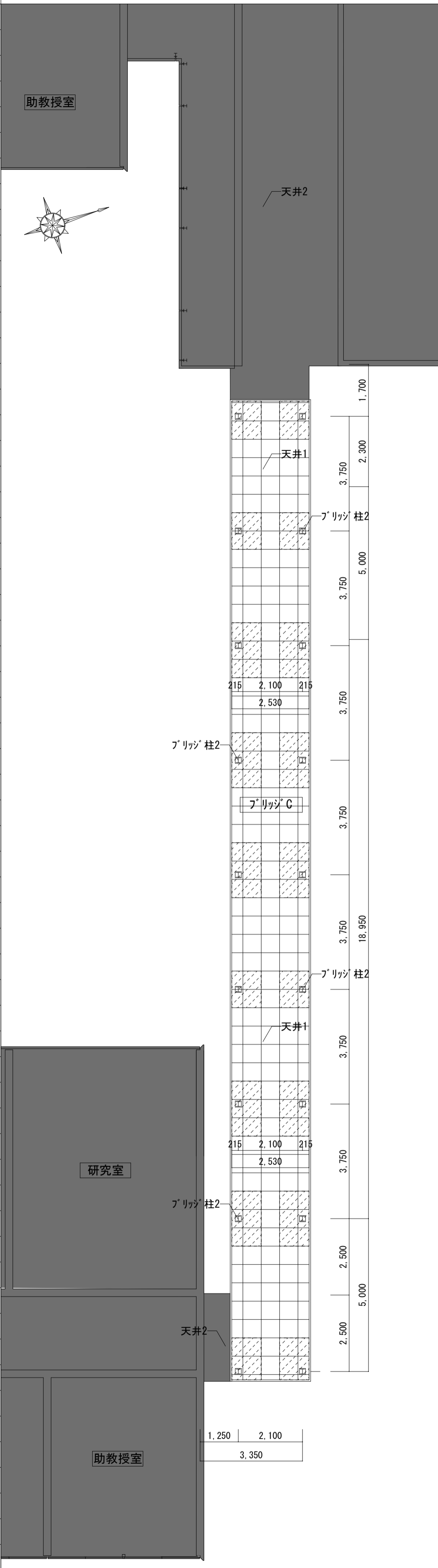


改修ブリッジC平面図 S=1/100

- 凡例
- 手摺 手摺34φ×2.3 溶融亜鉛メッキ処理の上キリウレタン樹脂塗料
  - 手摺子 FB-50×6 溶融亜鉛メッキ処理の上キリウレタン樹脂塗料
  - フィンヨングリッパ 片スタフ 付きφ14-5φ 【再取付】
  - 巾木 7&M製ハング 加工取付 【再取付】
  - ブリッジ柱2 柱H=1000以下 【現状のまま】
  - 柱H=1000以上
  - 既設鉄骨下地素地ごしらえの上 錆止め塗装 【新設】
  - 5&N下地(カ骨9φ丸鋼)+セミック耐火被覆材 厚20塗り 【新設】
  - +下地調整の上 超低汚染・高耐久NAD型特殊キリウレタン樹脂塗料 【新設】
  - 現状のままを示す。
  - 7&M製ハング 7&M製ハングを示す。

- 改修範囲
- 柱H=1000以上 耐火被覆材撤去処分範囲を示す。仕上げ下地共新設
  - 既設手摺φ14-5φ+7&M製ハング巾木 再取付箇所を示す。

■ 改修ブリッジC 天井伏図 S=1/100

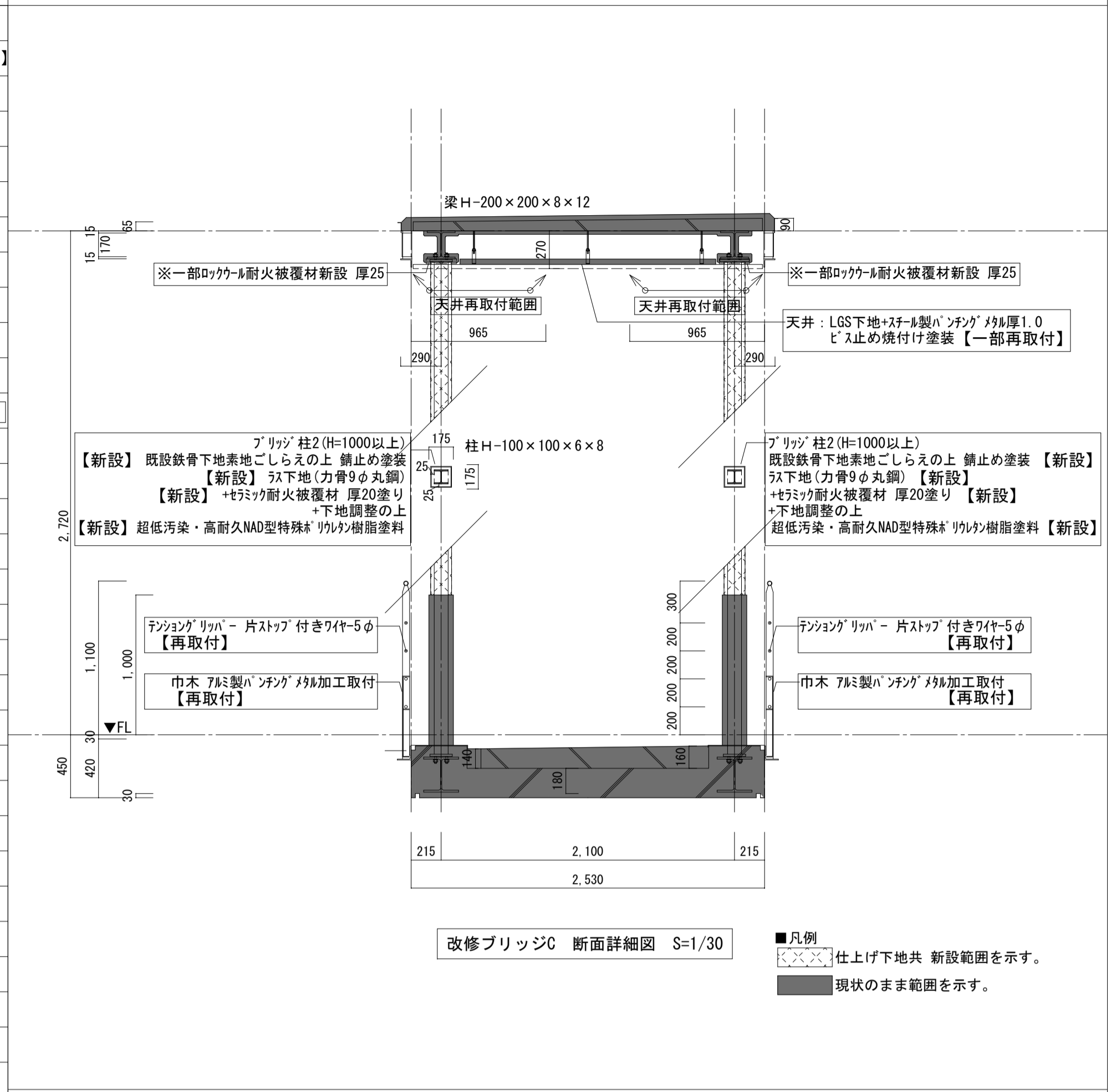


現状ブリッジC天井伏図 S=1/100

- 凡例
- 天井1 LGS下地+7&M製ハング 厚1.0 ビス止め焼付塗装【一部再取付】
  - 天井2 コンクリート打ち放し
  - ブリッジ柱2 柱H=1000以下 【現状のまま】
  - 柱H=1000以上
  - 既設鉄骨下地素地ごしらえの上 錆止め塗装 【新設】
  - 5&N下地(カ骨9φ丸鋼)+セミック耐火被覆材 厚20塗り 【新設】
  - +下地調整の上 超低汚染・高耐久NAD型特殊キリウレタン樹脂塗料 【新設】
  - 現状のままを示す。

- 改修範囲
- 7&M製ハング ビス止め 取外し範囲を示す。再取付
  - ※柱鉄骨梁取付部：耐火被覆材 ロックウール厚25取付一部新設を行う。

■ 改修ブリッジC 断面詳細図 S=1/30



改修ブリッジC 断面詳細図 S=1/30

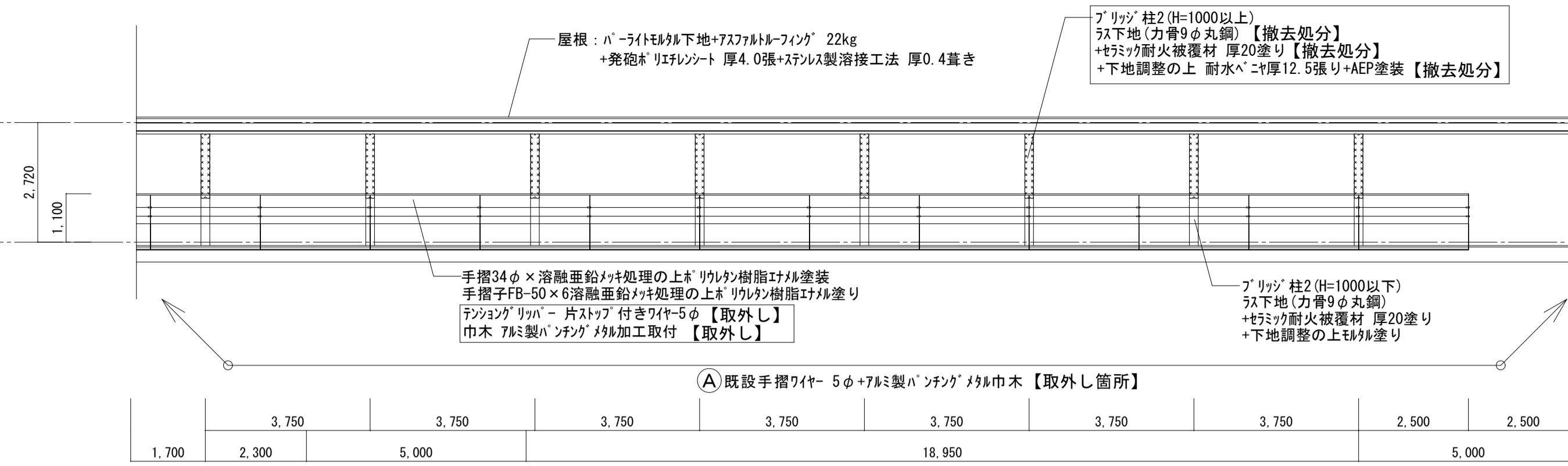
- 凡例
- 仕上げ下地共 新設範囲を示す。
  - 現状のまま範囲を示す。

訂正事項	

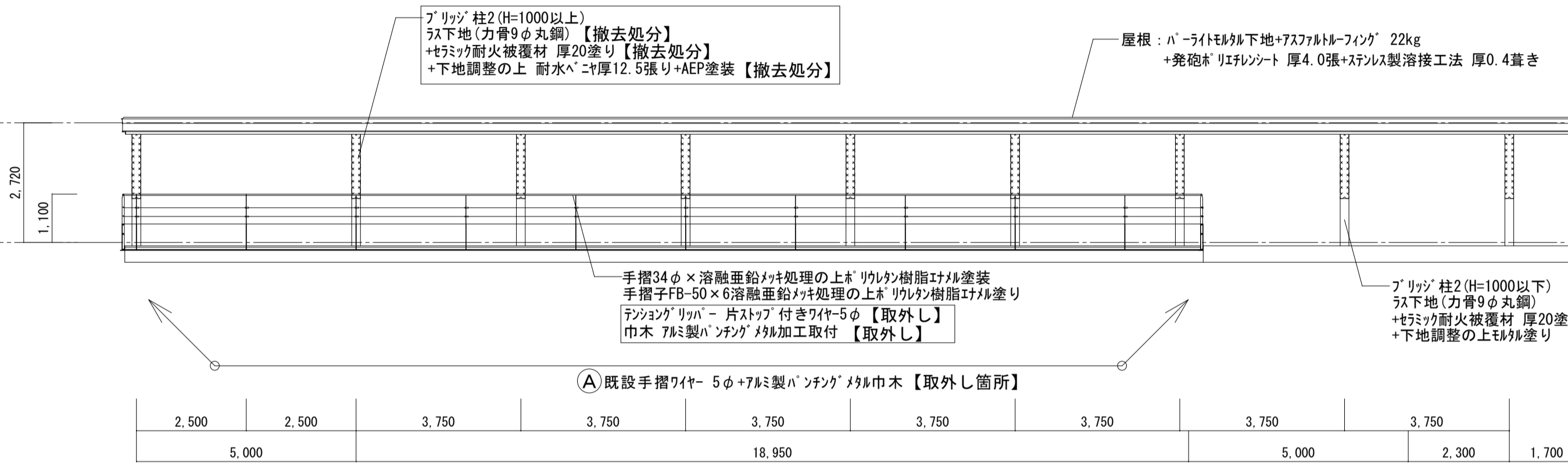
株式会社 水原建築設計事務所  
 一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号  
 一級建築士登録 第219285号 北村 通  
 彦根市長曾根南町4-4-8 番地 TEL 0749-22-1679

滋賀県立大学工学部屋外廊下耐火被覆改修工事		改修ブリッジC平面図	SHEET NO.
		改修ブリッジC天井伏図	A-14
		改修ブリッジC断面詳細図	
DRAWN BY	CHECKED BY	SUBMITTED BY	DATE
			SCALE 1/30, 1/100 (A1) 1/60, 1/200 (A3)

■ 現状ブリッジ 展開図 S=1/100

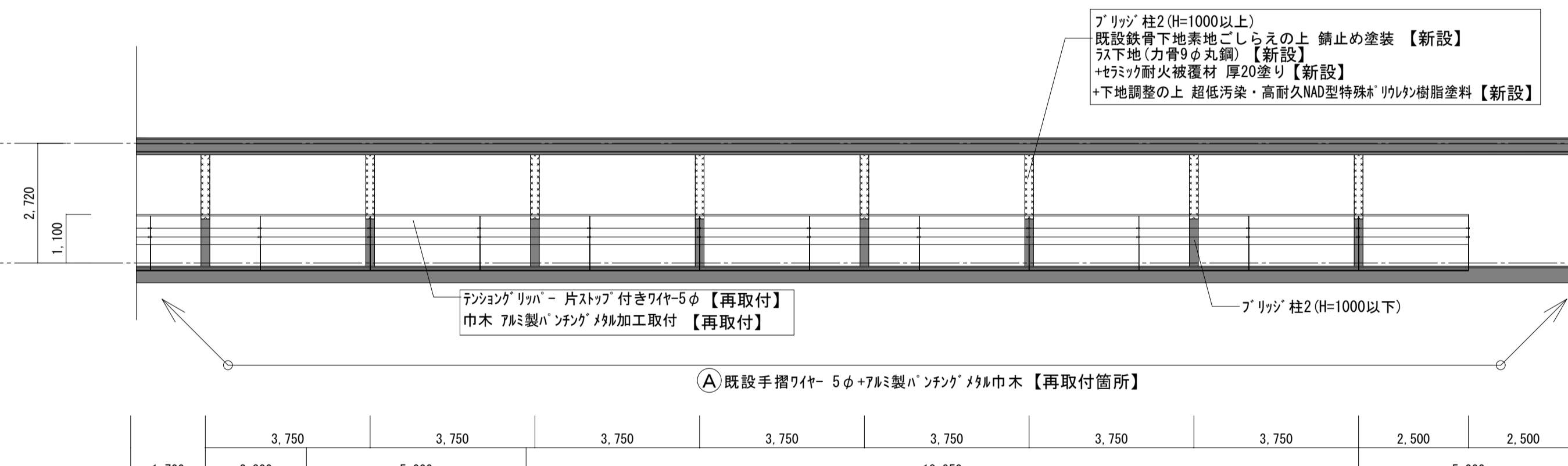


■凡例  
 仕上げ下地共 解体撤去範囲を示す

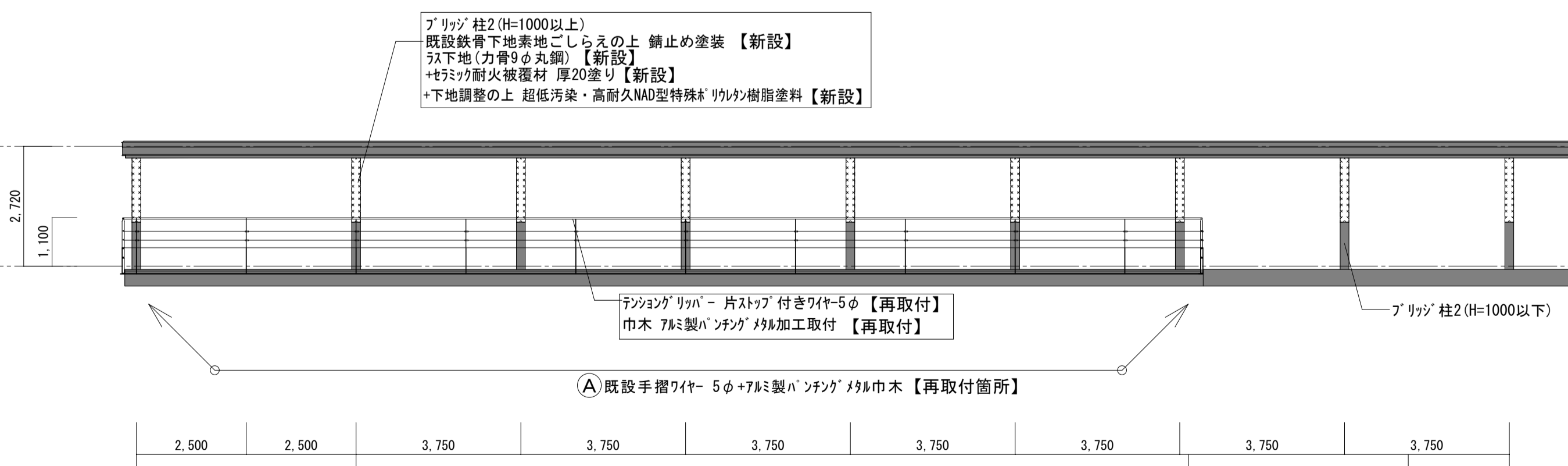


■凡例  
 仕上げ下地共 解体撤去範囲を示す

■ 改修ブリッジ 展開図 S=1/100



■凡例  
 仕上げ下地共 新設範囲を示す



■凡例  
 仕上げ下地共 新設範囲を示す

○ 凡例

- 手摺 手摺34φ×2.3 溶融亜鉛めっき処理の上 樹脂樹脂塗装
- 手摺子 FB-50×6 溶融亜鉛めっき処理の上 樹脂樹脂塗装
- フィンク リップ - 片ストップ 付きワイヤ-5φ 【取外し】
- 巾木 7mm製ハンチング 加工取付 【取外し】
- ブリッジ柱2 柱H=1000以下
  - 5x下地(力骨9φ丸鋼)+セラミック耐火被覆材 厚20塗り
  - +下地調整の上 耐水ペーパー厚12.5張り+AEP塗装
- 柱H=1000以上
  - 5x下地(力骨9φ丸鋼)+セラミック耐火被覆材 厚20塗り 【撤去処分】
  - +下地調整の上 耐水ペーパー厚12.5張り+AEP塗装 【撤去処分】
- 屋根 ハートモルタル下地+アクリル樹脂+フィンク 22kg/m3  
+発砲スチレンシート 厚4.0張り+ステンレス製溶接工法 厚0.4葎き

○ 解体撤去範囲

- 柱H=1000以上  
耐火被覆材撤去処分範囲を示す。 仕上げ下地共撤去処分
- (A) 既設手摺ワイヤ- 5φ+7mm製ハンチング 巾木  
取外し箇所を示す。 【取外し】

○ 凡例

- ブリッジ柱2 柱H=1000以下 【現状のまま】
- 柱H=1000以上
  - +下地調整の上 超低汚染・高耐久NAD型特殊樹脂塗料 【新設】
  - 5x下地(力骨9φ丸鋼)+セラミック耐火被覆材 厚20塗り 【新設】
  - +下地調整の上 超低汚染・高耐久NAD型特殊樹脂塗料 【新設】
- 現状のままを示す。

○ 改修範囲

- 柱H=1000以上  
耐火被覆材新設範囲を示す。 仕上げ下地共新設
- (A) 既設手摺ワイヤ- 5φ+7mm製ハンチング 巾木  
再取付箇所を示す。 【再取付】
- ※スイッチ、照明等は現状のままとする。

訂正事項	

株式会社 水原建築設計事務所  
 一級建築士事務所 滋賀県知事登録 第63号  
 一級建築士登録 第219285号 北村 通  
 彦根市長曾根南町4-4-8 番地 TEL 0749-22-1679

滋賀県立大学工学部屋外廊下耐火被覆改修工事  
 DRAWN BY CHECKED BY SUBMITTED BY  
 DATE SCALE 1/100 (A1)  
 1/200 (A3)

現状ブリッジC展開図  
 改修ブリッジC展開図  
 SHEET NO. A-15